商業登記リモート署名ドライバソフト
利用者マニュアル

～　Adobe Acrobat Reader 等で電子署名を行う方法について　～

1.3 版

令和８年７月

法務省民事局商事課

改訂履歴

版数	改訂日付	改訂内容
1.0 版	令和 7 年 12 月 23 日	・新規作成
1.1 版	令和 8 年 4 月 21 日	・全体 キャプチャ画像の更新 ・「2 事前準備」 本ソフトウェアの利用が可能な G ビズ ID アカウントの種別を明記。 G ビズ ID メンバーが利用する場合の留意事項を追記。 ・「2.2.1 商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード」 商業登記電子認証ポータルの URL が未確定である旨を追記。 ・「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」 手順⑥にて、ブラウザを閉じることを促すダイアログが表示される旨を追記。 手順⑨にて、自己署名証明書が未インストールの場合のみ、ダイアログが表示される旨を追記。 ・「3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作」 ・「5.1 Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat で署名が無効と表示される場合」 CAPI を使用して署名を行う場合の注意事項を明記。 ・「4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...」 手順⑥にて、ブラウザを閉じることを促すダイアログが表示される旨を追記。 ・「4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには...」

		手順④にて、G ビズ ID ログアウト時にブラウザを起動する旨を追記。 手順⑤にて、ブラウザを閉じることを促すダイアログが表示される旨を追記。 ・「7 用語の定義」 本書に記載のない不要な用語を削除。
1.2 版	令和 8 年 6 月 22 日	・「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」 証明書の再発行時に本手順を行い、再発行後の証明書を登録する必要がある旨を追記。 ・「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」 ・「3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作」 ・「4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...」 G ビズ ID ログイン時に誤ってブラウザを閉じた場合の対処方法を追記。
1.3 版	令和 8 年 7 月 1 日	・「1.4 ご利用上の注意事項について」 ご利用上の注意事項を追加。 ・「2.2.1 商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード」 商業登記電子認証ポータルの URL を明記。 ・「3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作」 G ビズ ID ログイン後に証明書情報が更新されず電子署名ができない場合がある旨と対処方法を明記。 ・「8 参考情報」 商業登記電子認証ポータルの利用者マニュアルの URL を明記。 ・「9 問い合わせ」 商業登記リモート署名サポートデスクの URL を明記。 ・「4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...」

		利用可能な電子証明書が 1 件の場合、証明書の一覧画面が表示されない旨を追記。 ・「5.2 G ビズ ID プライムアカウントを引き継ぐ場合の注意事項について」 G ビズ ID プライムアカウントを引き継いだ場合に G ビズ ID への再ログインと電子証明書の再登録が必要である旨を追記。 ・「5.3 電子証明書の指定時に利用可能な電子証明書がない旨のダイアログが表示される場合について」 利用可能な電子証明書がない場合に電子認証ポータルにて証明書の登録又は再発行後の証明書の登録が必要である旨を追記。

目次

1　概要 8

1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトについて 8

1.1.1　商業登記リモート署名ドライバソフトとは 8

1.1.2　商業登記リモート署名とは（参考） 9

1.2 対象読者 10

1.3 動作環境 11

1.4 ご利用上の注意事項について 12

1.4.1　利用者情報の管理について 12

1.4.2　G ビズ ID を停止又は退会した場合について 12

1.4.3　商業登記リモート署名ドライバソフトの利用を終了する場合について 12

2　事前準備 13

2.1 商業登記電子認証ポータルを利用した商業登記電子証明書の取得・登録 14

2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール 15

2.2.1　商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード 15

2.2.2　商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール 17

2.3 商業登記リモート署名ドライバソフトの初回起動時の設定 21

2.3.1　管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定 21

3　商業登記リモート署名ドライバを利用した電子署名の利用方法 29

3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作 29

4　その他機能の操作 36

4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには... 36

4.2 通信環境の設定を行うには... 42

4.3 電子署名に指定した商業登記電子証明書をクリアするには... 45

4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには... 47

4.5 商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールするには... 50

5　トラブルシューティング 54

5.1 Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat で署名が無効と表示される場合 54

5.2 G ビズ ID プライムアカウントを引き継ぐ場合の注意事項について 57

5.3 電子証明書の指定時に利用可能な電子証明書がない旨のダイアログが表示される場合について

58

6　G ビズ ID との連携.....59

7　用語の定義.....59

8　参考情報.....63

9　問い合わせ.....63

1 概要

1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトについて

1.1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトとは

商業登記リモート署名ドライバソフト（以降、本ソフトウェア）は、法務省が提供する「商業登記リモート署名」をパソコン（Windows）で利用するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアを Windows にインストールすると、電子署名に対応したアプリケーションから、商業登記リモート署名による電子署名を安全に行えるようになります。

実際の署名処理は、本ソフトウェアを通じてインターネット上の商業登記リモート署名システムにて行われます。また、インターネット上の商業登記リモート署名システムと連携する際には、G ビズ ID を使った認証（当人であることの確認）、及び認可（アクセス権限の確認）を行う必要があるため、本ソフトウェア経由で認証と認可（認可処理は、別途スマートフォンが必要）を行います。本ソフトウェアは Windows に標準搭載されている CNG/CAPI の暗号 API の仕組みを使って、利用者が操作する電子署名を行うアプリケーションに対して電子署名機能を提供します。

商業登記リモート署名では、以下の利用方法を提供いたします。

① 行政機関において開発した Web アプリケーションを、ブラウザを使って操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。
② 行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーションを操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。この際には、本書に記載の本ソフトウェア経由で商業登記リモート署名システムと連携します。
③ 一般的に利用されている市販の Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション（Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat 等）を操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。（一般利用者のみ利用可能）。この際には、本書に記載の本ソフトウェア経由で商業登記リモート署名システムと連携します。

本書では、上記の３つの利用方法のうち、②の行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション、及び③の一般的に利用されている市販の Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション（Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat 等）の利用で必要となる事前準備を記載しております。また、③については、Adobe Acrobat Reader を利用例として記載しております。

なお、②の行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名アプリケーションを利用した電子署名の操作方法につきましては、それぞれのマニュアルをご参照ください。

1.1.2　商業登記リモート署名とは（参考）

商業登記リモート署名は、商業登記電子証明書と紐付いた署名鍵を商業登記リモート署名システム上に保管して利用する仕組みとなります。商業登記電子証明書の利用者は、商業登記電子認証ポータルを利用して電子証明書の発行準備や管理を行い、商業登記リモート署名に対応した署名生成アプリケーション（行政システムや電子署名アプリ等）を用いて電子署名を付与することができます。なお商業登記電子認証ポータルと署名生成アプリケーションの利用時には G ビズ ID による認証や認可と連携して動作します。

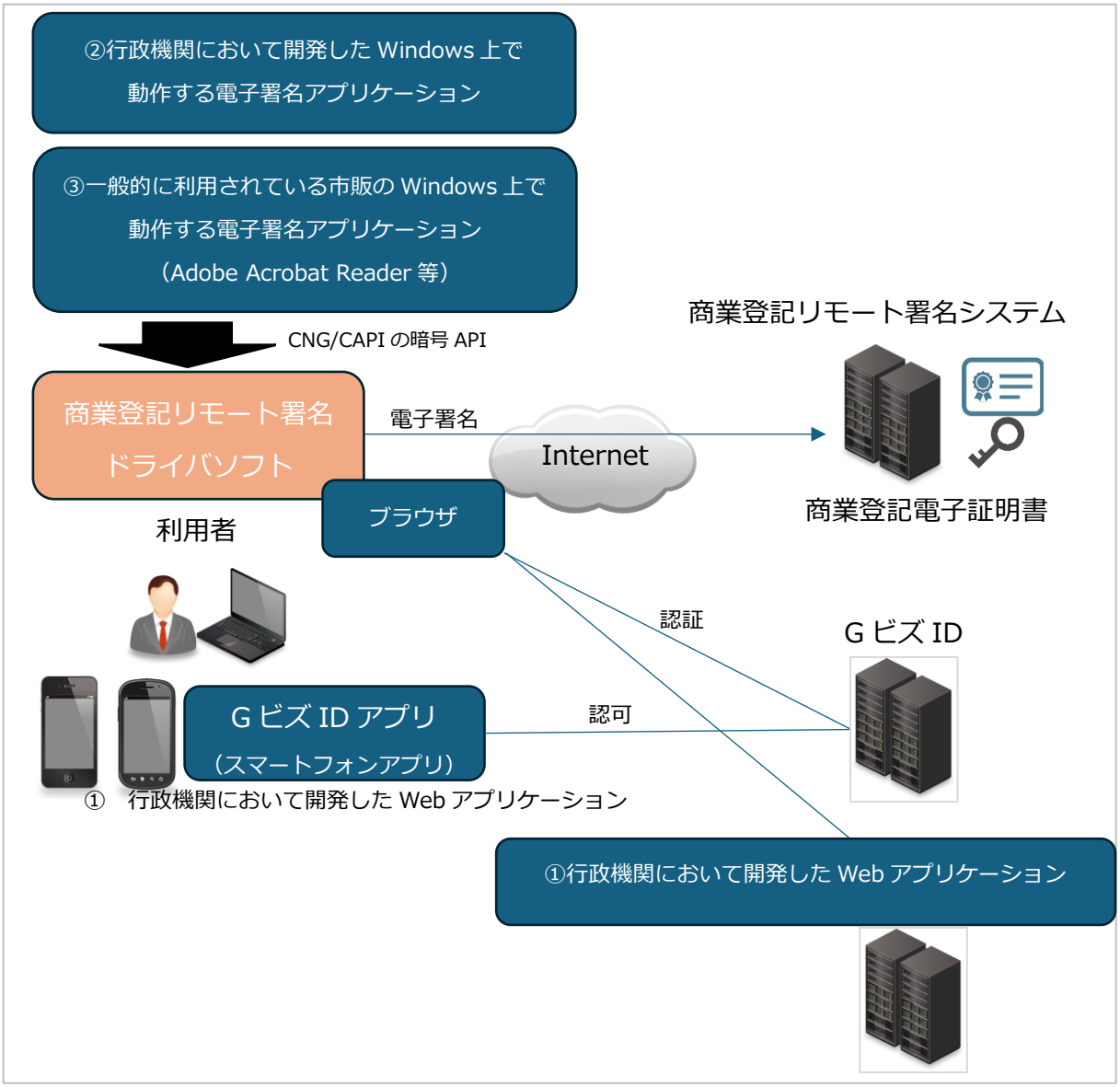


図 1. 商業登記リモート署名の全体概要

1.2 対象読者

本書の対象読者は、ご利用の PC 上で動作する商業登記リモート署名に対応した電子署名を行うアプリケーションを利用して商業登記リモート署名を行う利用者を想定しています。

1.3　動作環境

本ソフトウェアの動作環境は以下のとおりとなります。

表 1. 動作環境

項目	条件
プラットフォーム	Windows 11 Home/Pro（64 ビット版）
Web ブラウザ	Microsoft Edge
通信環境	外部サーバーとの通信を行うため、インターネット接続環境が必要です。 【商業登記リモート署名システム】 • 接続先 URL：https://rssp.cr-rs.moj.go.jp 【G ビズ ID】 G ビズ ID の『G ビズ ID マイページ操作マニュアル』をご参照ください。 ※プロキシ環境やファイアウォールの設定により通信が遮断されている場合、正常に動作しないことがあります。
電子署名を行うアプリケーション	• 行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名アプリケーション • Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat ※アプリケーションのビット数は、32 ビット版及び 64 ビット版のアプリにて利用可能となります。 ※CNG の暗号 API は、64 ビット版のみ利用可能となります。

1.4　ご利用上の注意事項について

1.4.1　　利用者情報の管理について

本書で取り扱う利用者情報（商業登記電子証明書、鍵パスワード、認可端末情報）は、利用者の責任において適切に管理してください。

1.4.2　　G ビズ ID を停止又は退会した場合について

G ビズ ID を停止又は退会した場合は、商業登記リモート署名による電子証明書を使用した電子署名ができなくなります。

1.4.3　　商業登記リモート署名ドライバソフトの利用を終了する場合について

商業登記リモート署名ドライバソフトの利用を終了する場合は、電子証明書の削除及び G ビズ ID からのログアウトを行い、商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールしてください。

電子証明書の削除については、「4.3 電子署名に指定した商業登記電子証明書をクリアするには...」を参照してください。

G ビズ ID からのログアウトについては、「4.4Gビズ ID の認証情報をクリアするには...」を参照してください。

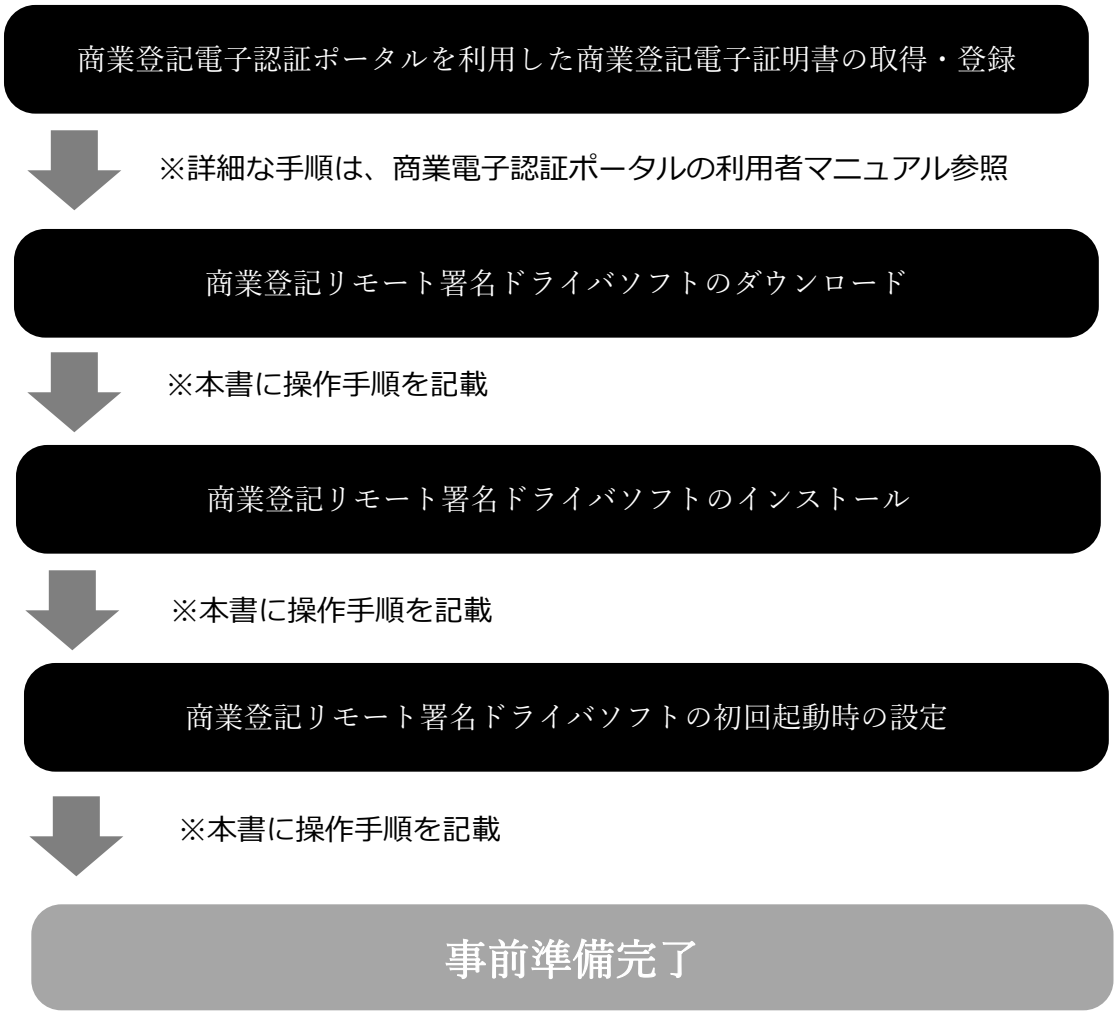
商業登記リモート署名ドライバソフトのアンインストールについては、「4.5 商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールするには...」を参照してください。

また、商業登記電子認証ポータルの利用を終了する場合は、「商業登記電子認証ポータル 利用者マニュアル」の「1.5.4 商業登記電子認証ポータルの利用を終了する場合について」を参照してください。

2　事前準備

本ソフトウェアを利用するための事前準備は、以下の流れとなります。

本章では、以下の黒背景の操作手順について記載しております。



【重要】

商業登記リモート署名の利用には、**G ビズ ID のアカウント（プライム、メンバー（※）又はエントリー）及びスマートフォン（G ビズ ID アプリ）が必須**です。スマートフォンをお持ちでない場合、本ソフトウェアを利用した電子署名は行えません。

※　G ビズ ID において、プライムが対象メンバーの利用できるサービスに「商業登記リモート署名ドライバソフト」を選択しない限り、本ソフトウェアをメンバーが利用することはできません。詳しくは、「G ビズ ID クイックマニュアル G ビズ ID メンバー編」（https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Member.pdf）を参照ください。な

お、本ソフトウェアの利用権限をメンバーに付与した場合、メンバーによる署名操作が可能となりますが、この場合には、署名認可に必要な「鍵パスワード」及び「認可端末」が商業登記電子証明書の被証明者（会社・法人の代表者等）の意思に反して利用されることのないよう慎重に管理した上でご利用ください。

2.1　商業登記電子認証ポータルを利用した商業登記電子証明書の取得・登録

取得済の G ビズ ID のアカウントにて商業登記電子認証ポータルを利用して、商業登記電子証明書を商業登記リモート署名システムに事前に取得しておく必要があります。詳細の手順につきましては、商業登記電子認証ポータルの利用者マニュアルを参照してください。

なお、商業登記電子証明書を、ファイル形式又は IC カード格納形式で取得して電子署名を付与する場合には、本ソフトウェアの利用はできません。

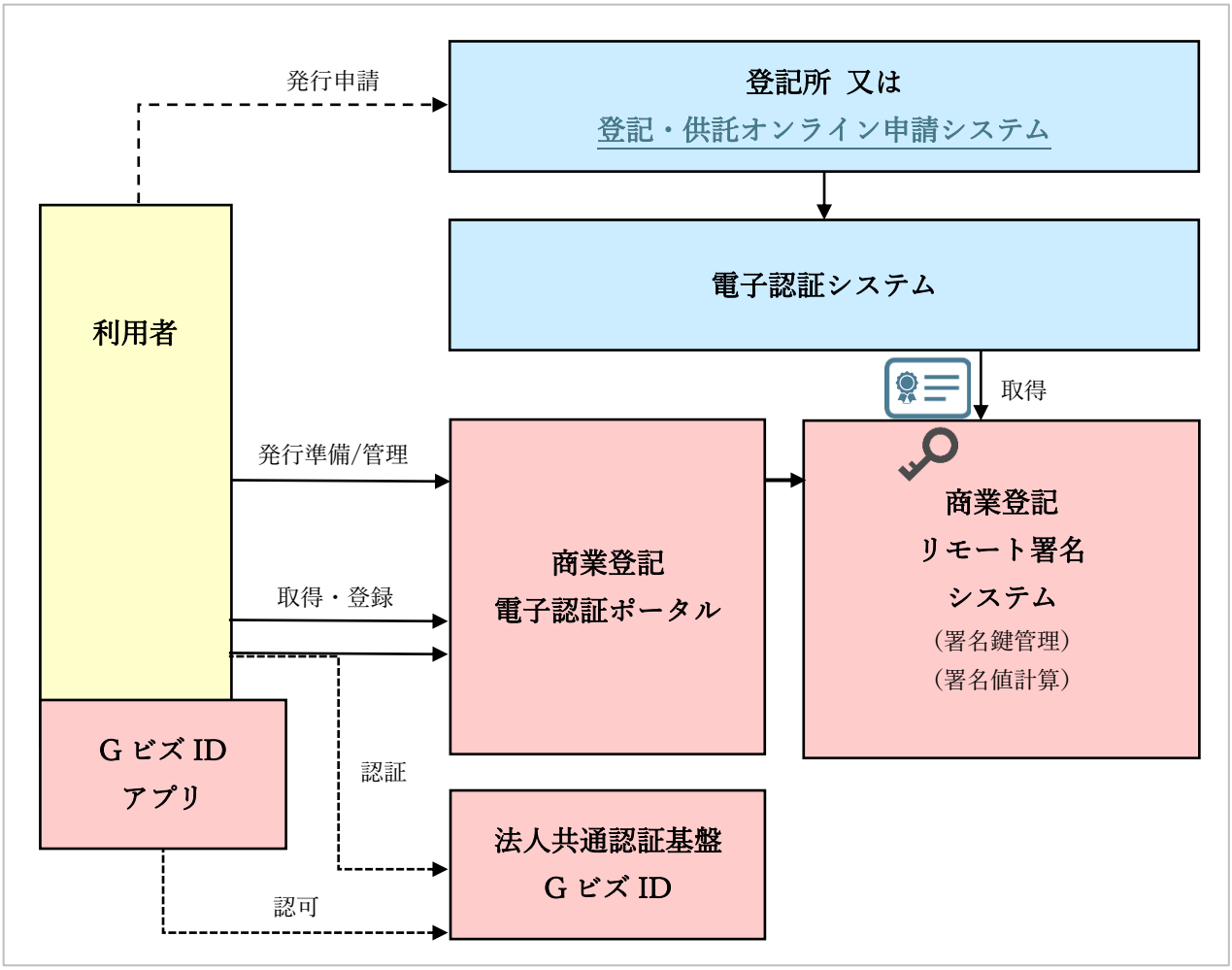


図 2. 商業登記電子証明書の取得・登録

2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール

2.2.1 商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード

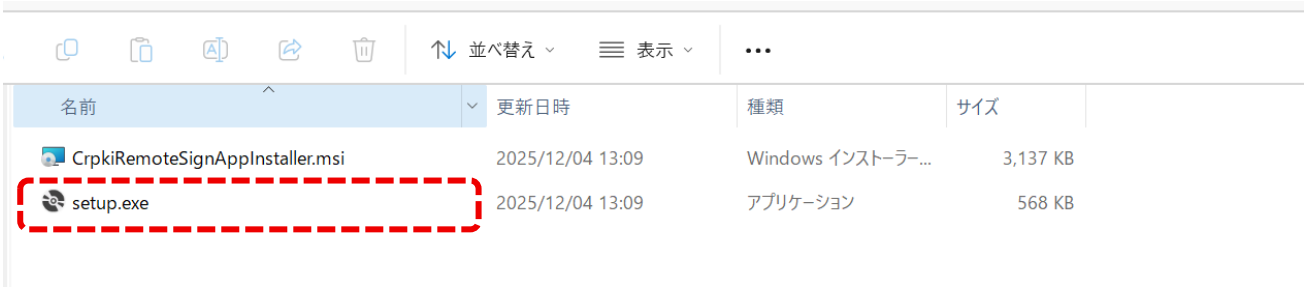
① ご利用のパソコン（Windows）にてブラウザを起動します。

② ブラウザにて、商業登記電子認証ポータル（https://portal.cr-rs.moj.go.jp/index）にアクセスします。商業登記電子認証ポータル画面が表示されます。

③ 表示されている画面を下にスクロールし、「リモート署名ドライバソフトのダウンロード」のボタンが表示されていることを確認し、「リモート署名ドライバソフトのダウンロード」を押下し、ご利用のパソコン（Windows）にインストーラをダウンロードします。

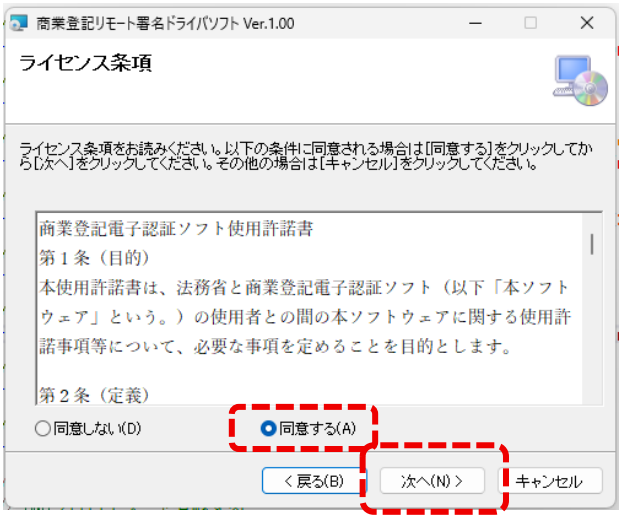
2.2.2　商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール

① ダウンロードしたインストーラのファイル（setup.exe）をマウスのダブルクリックにて実行します。



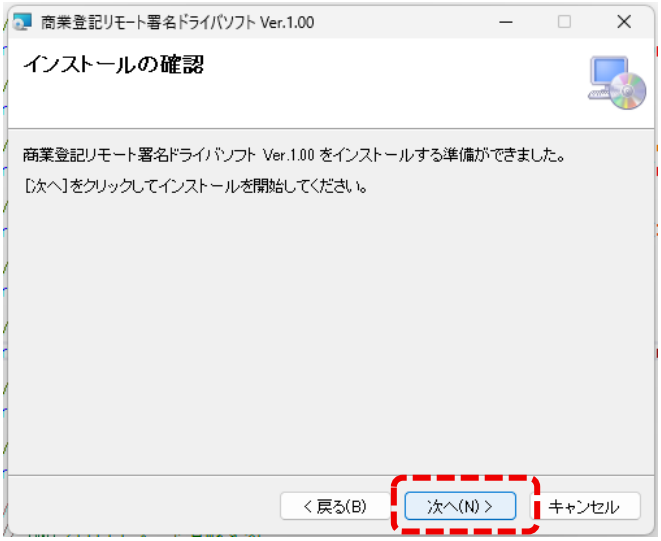
② 以下のインストール開始の確認ダイアログが表示されますので、「次へ(N) >」ボタンを押下します。

③ 以下のライセンス条項確認のダイアログが表示されますので、ライセンス条項を確認し、「同意する(A)」のラジオボタンを選択し、「次へ(N) >」ボタンを押下します。

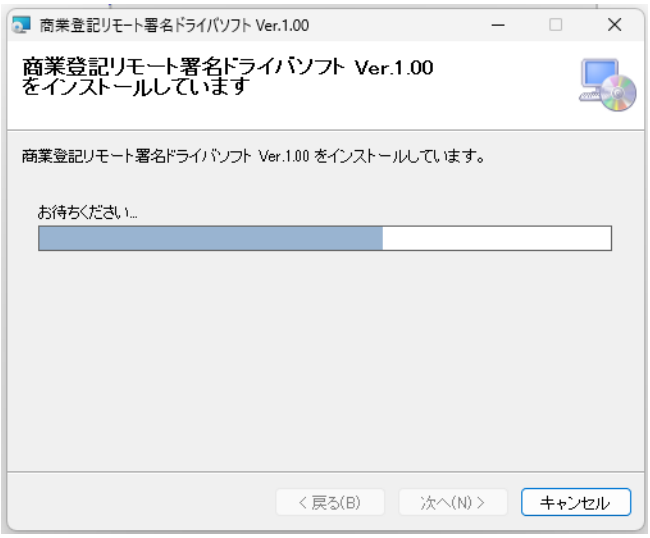


④ 以下のインストールフォルダの選択ダイアログが表示されます。本ソフトウェアのインストールフォルダを変更する場合には、「参照(R)」ボタンで選択しインストールフォルダを選択します。インストールフォルダを選択後、又はインストールフォルダを変更しない場合には「次へ(N) >」ボタンを押下します。

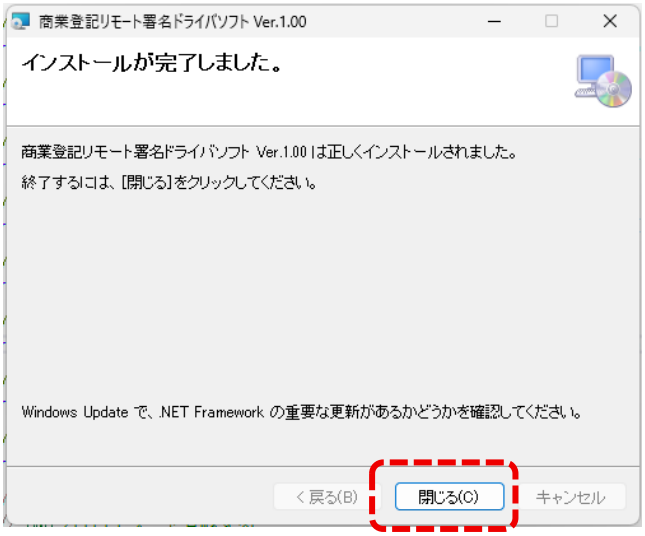
⑤ 以下のインストールの確認ダイアログが表示されますので、「次へ(N) >」ボタンを押下します。



⑥ インストールが開始されると、以下のインストール状況の表示ダイアログが表示され、インストールの状況が表示されます。



⑦ 以下のインストール完了のダイアログが表示されましたら、インストールは完了となります。「閉じる(C)」ボタンを押下します。



⑧ 以上で本ソフトウェアのパソコン（Windows）へのインストールは完了となります。

2.3　商業登記リモート署名ドライバソフトの初回起動時の設定

商業登記リモート署名システムでは、１つのＧビズ ID アカウントに対して複数の商業登記電子証明書を登録可能となりますが、本ソフトウェアで電子署名を付与する際には、事前に電子署名に利用する商業登記電子証明書を指定する必要があります。本章では、この電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定方法について記載いたします。

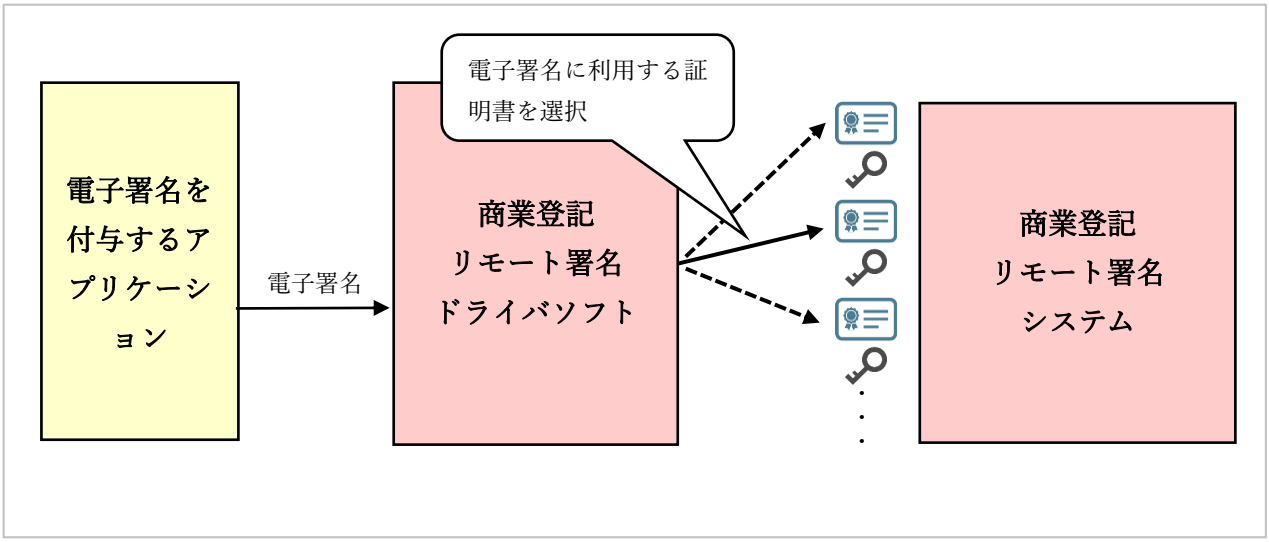


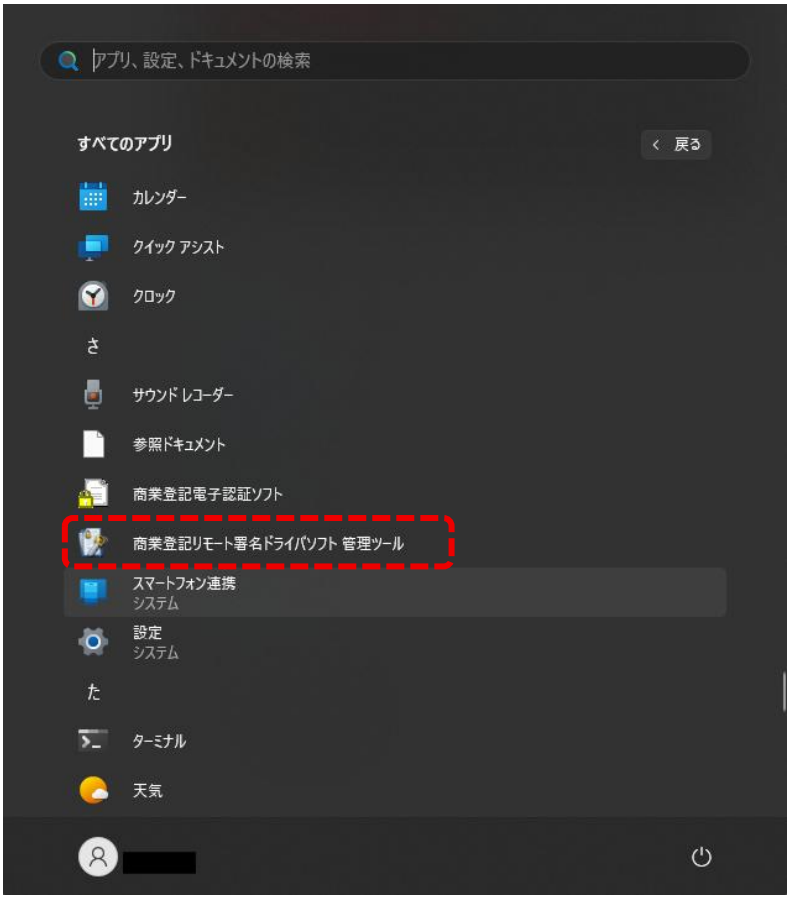
図 3. 商業登記電子証明書の指定

2.3.1　　管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定

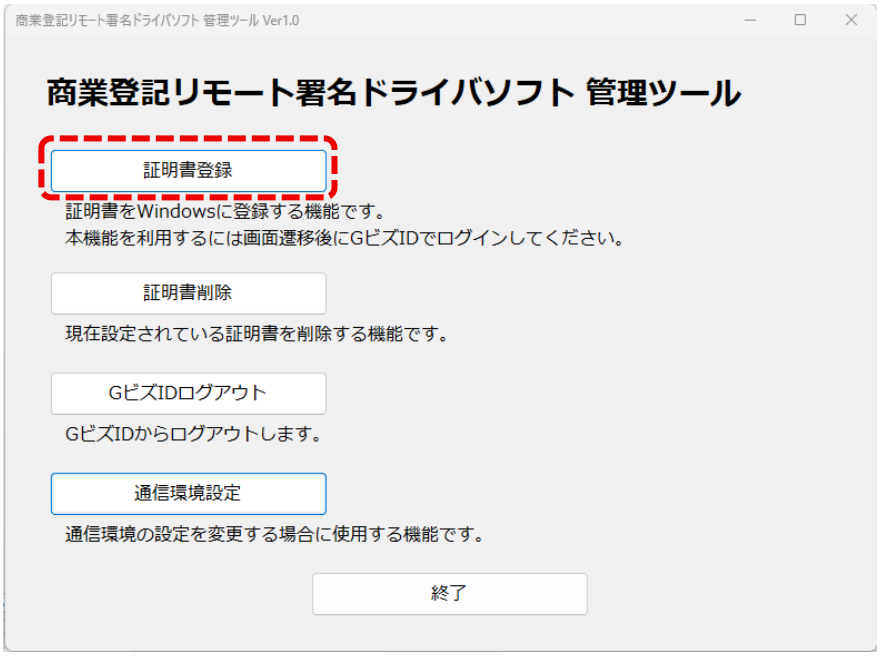
【注意事項】

商業登記電子認証ポータルを利用して商業登記電子証明書の再発行を行った場合、再発行前の証明書は使用できなくなります。証明書を再発行後は、本手順に従って再発行後の商業登記電子証明書を設定してください。

① Windows のメニューから「商業登記リモート署名ドライバソフト 管理ツール」を起動します。

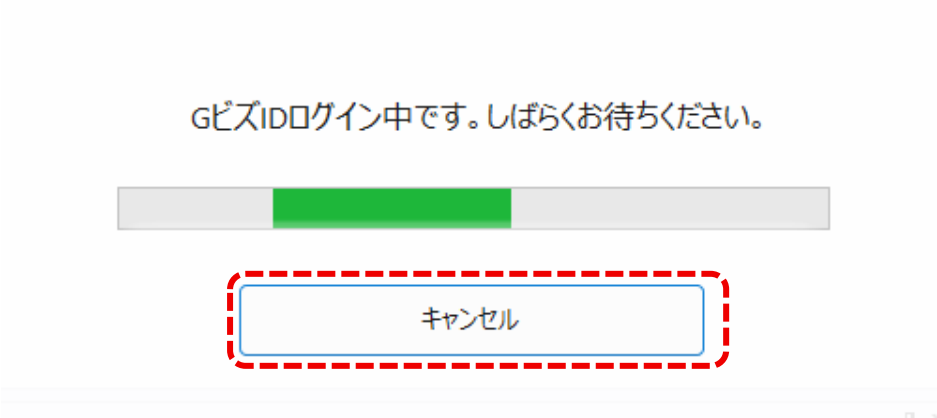


② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「証明書登録」を押下します。

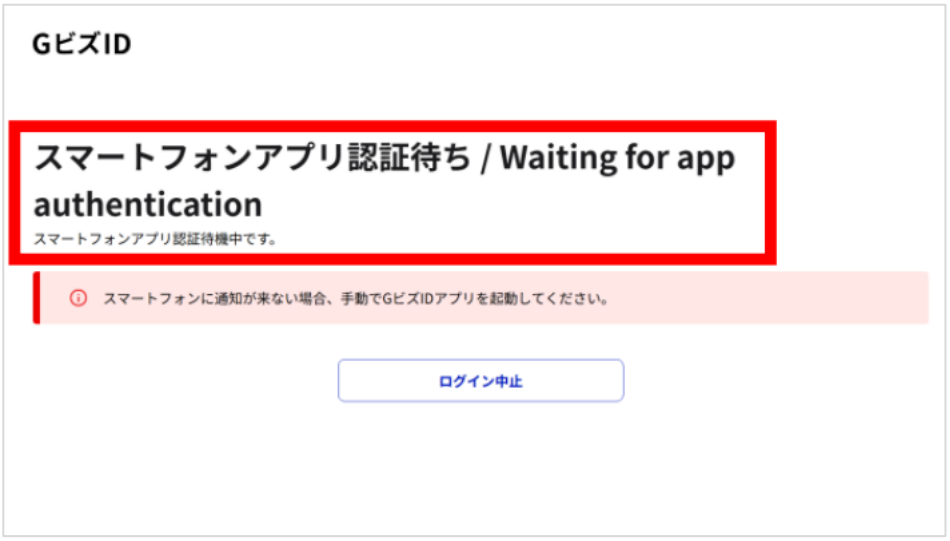


③ ブラウザが起動され G ビズ ID のログイン画面が表示されます。
G ビズ ID に登録済の Email、パスワードを入力し、「ログイン/Login」ボタンを押下します。

G ビズ ID へのログイン中には以下の画面が表示されますので、誤って G ビズ ID のログイン画面を閉じてしまった場合、「キャンセル」ボタンを押下し、再度操作②を実施してください。

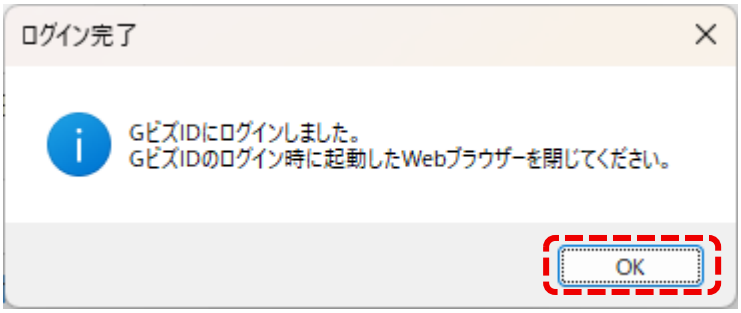


④ 以下の認証画面が表示された場合はその指示に従って、G ビズ ID に設定済の認証をおこなってください。



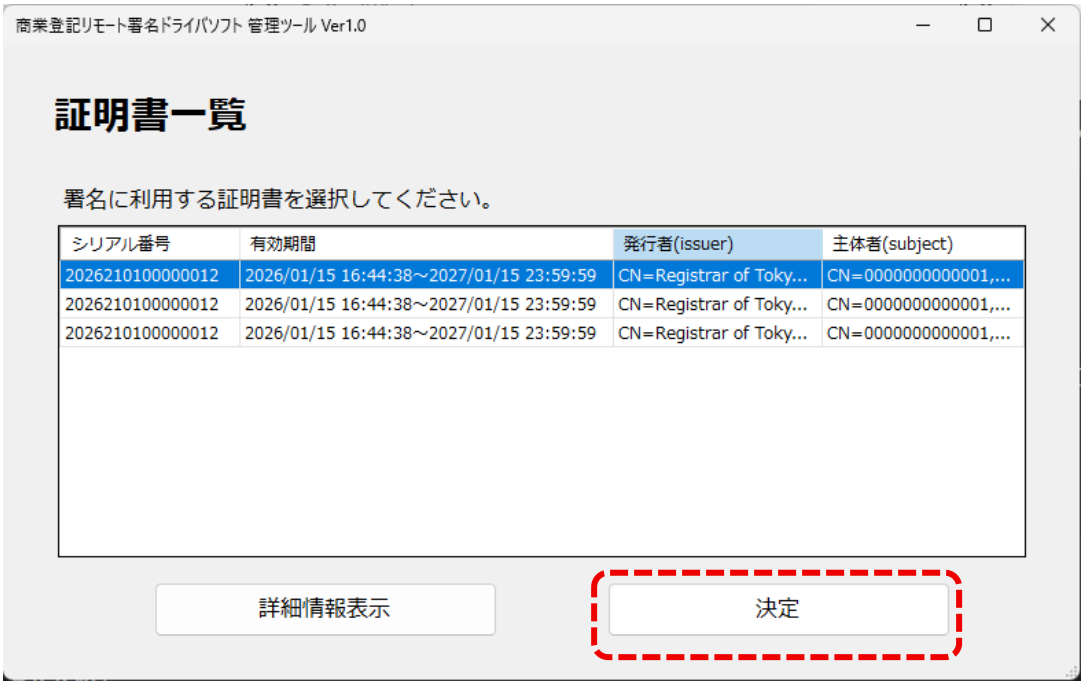
⑤ 認証が正常に完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「開く」ボタンを押下します。

⑥ 以下のダイアログが表示されますので、手順③で起動したブラウザを閉じた後に「OK」ボタンを押下してください。



⑦ 以下のダイアログが表示され、商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書一覧がリスト表示されます。電子署名に利用する証明書をリストから選択後に、「決定」ボタンを押下します。

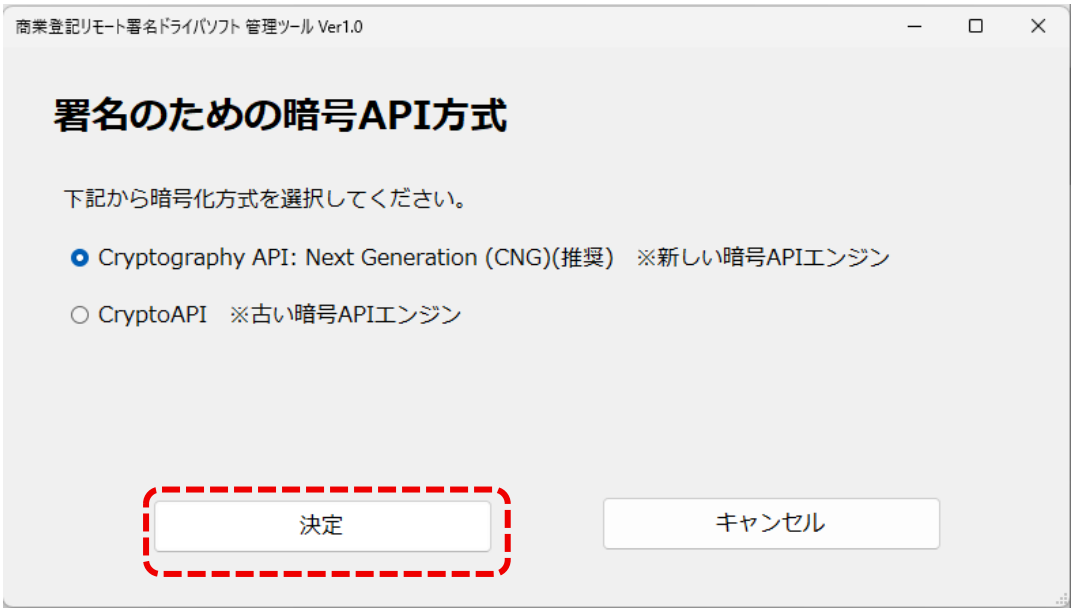
※商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書が 1 件の場合には、以下のダイアログは表示されません（手順⑧の画面が表示されます。）。また、利用可能な証明書が 0 件の場合には、0 件というダイアログが表示されます。既に管理ツールから登録した証明書が存在する状態で別の証明書を登録した場合、前の証明書は削除されて新しい証明書が登録されます。



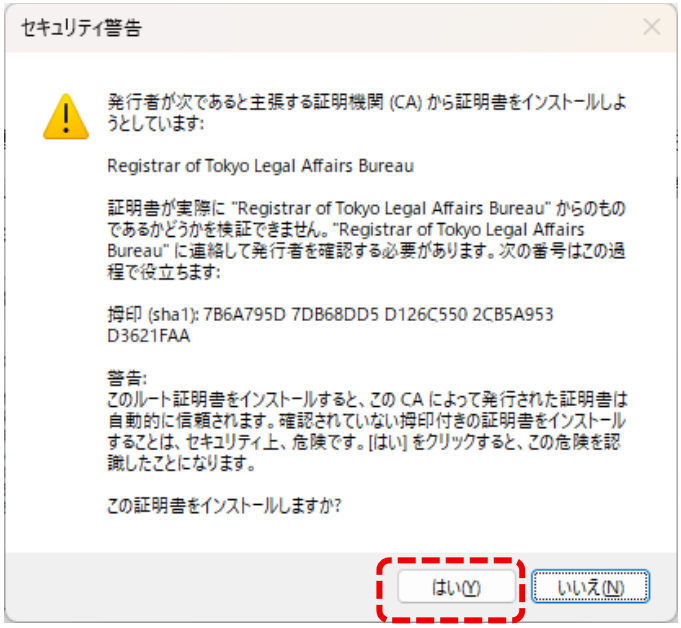
⑧ 以下のダイアログが表示されますので、暗号 API 方式のラジオボタンを選択後に「決定」ボタンを押下します。 Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat をご利用して電子署名を行う場合には、「Cryptography API: Next Generation(CNG)(推奨)」のラジオボタンを選択してください。

※「CryptoAPI」のラジオボタンを選択した場合、Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat の設定によっては、電子署名を行った際に署名が無効となる場合があります。詳細は、「5.1Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat で署名が無効と表示される場合」を参照してください。

その他の電子署名を行うアプリケーションにつきましては、各アプリケーションの暗号 API 方式の対応状況に従って選択をしてください（本操作後に異なる暗号 API 方式に対応するアプリケーションで電子署名を行う場合は、当該アプリケーションで電子署名の操作をする前に本操作をやり直し、暗号 API 方式を変更してください。）。



⑨ 自己署名証明書をインストールするため、以下のダイアログが表示されます。「はい（Y)」ボタンを押下します。（既に自己署名証明書がインストール済みである場合、本ダイアログは表示されません。）

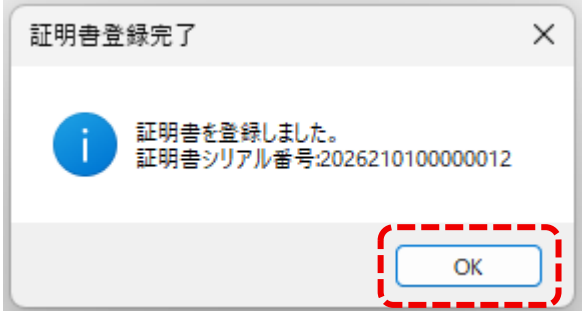


【重要】

上記ダイアログは、パソコン（Windows）の「信頼されたルート証明書機関」に登録時に表示されるダイアログとなります。「信頼されたルート証明書機関」に登録されたルート

CA は、パソコン（Windows）の 環境上で すべての証明書を無条件に信頼する基点となりますので、ダイアログに表示される自己署名証明書の内容を確認後に「はい(Y)」ボタンを押下してください。

⑩ 電子署名に利用する商業登記電子証明書を Windows の証明書ストアに正常に登録されると下記のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンを押下します。



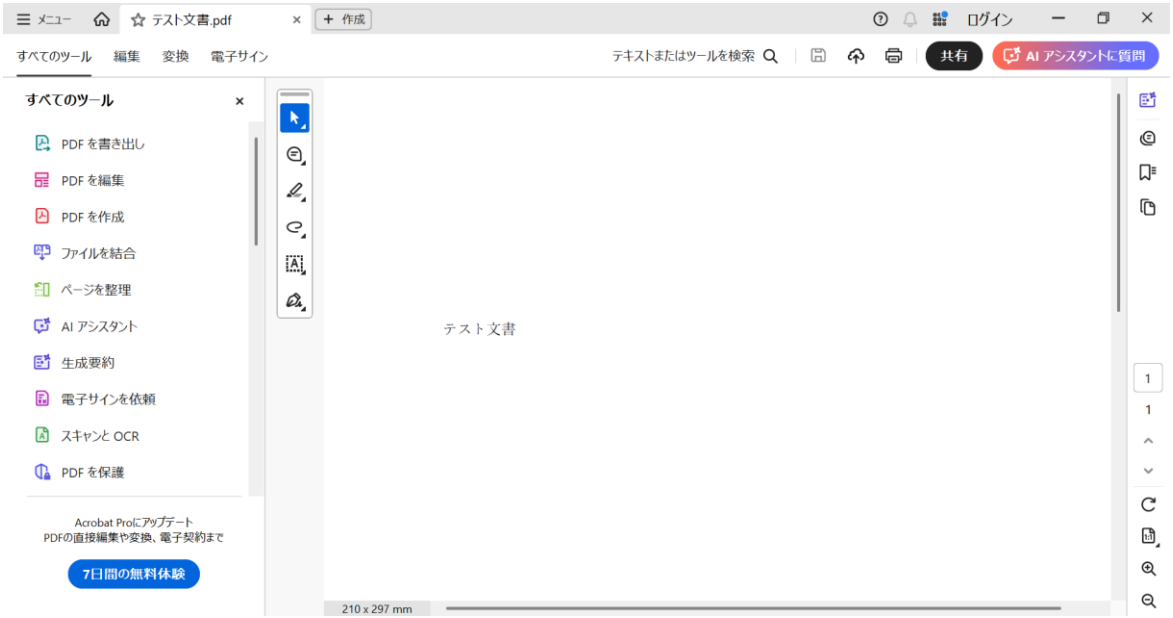
⑪ 以上で本ソフトウェアの事前準備は完了となります。

3　商業登記リモート署名ドライバを利用した電子署名の利用方法

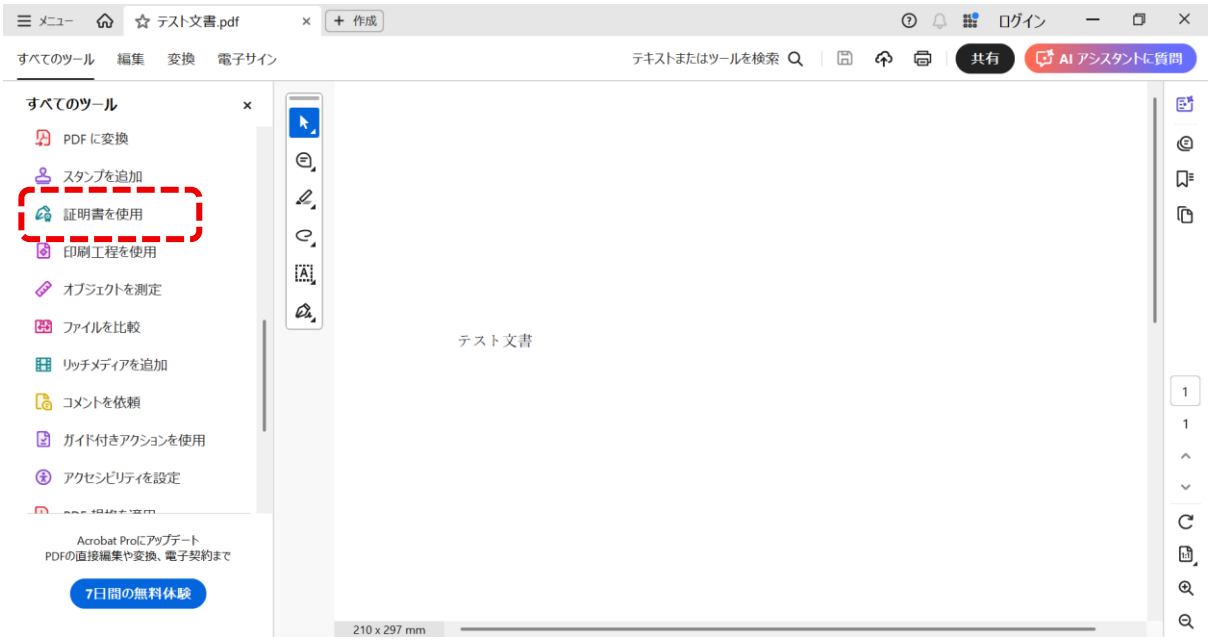
本ソフトウェアを利用した電子署名につきましては、Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作について記載します。

3.1　Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作

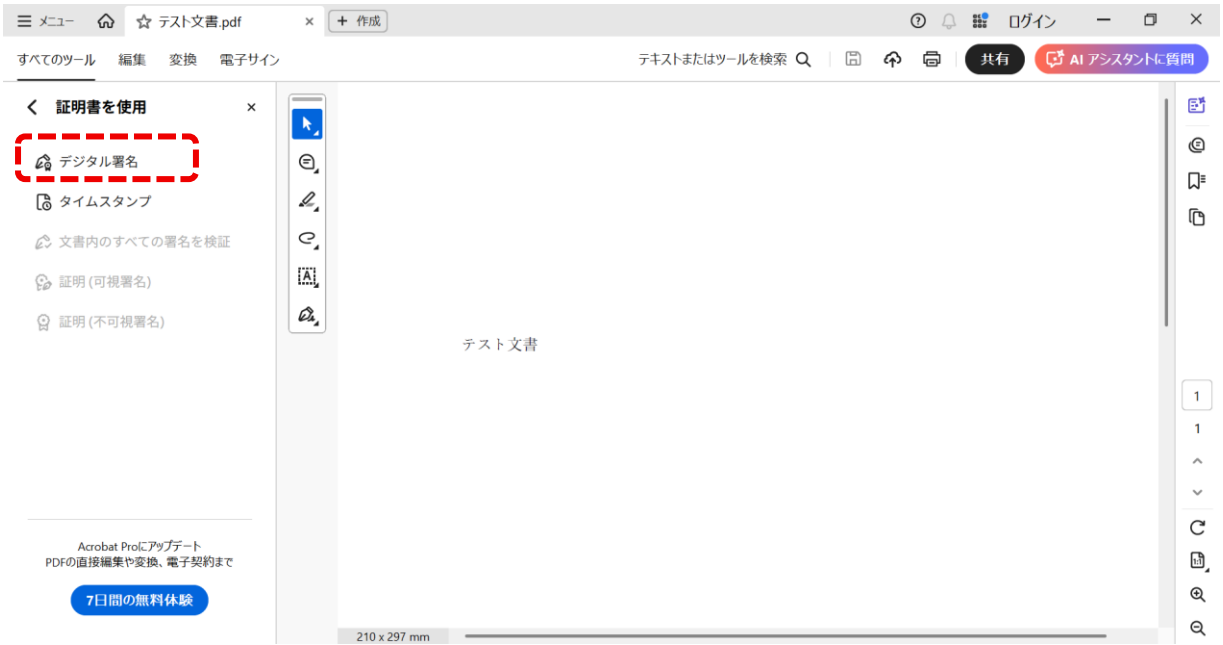
① Adobe Acrobat Reader を起動し、電子署名を付与する PDF ファイルを開きます。



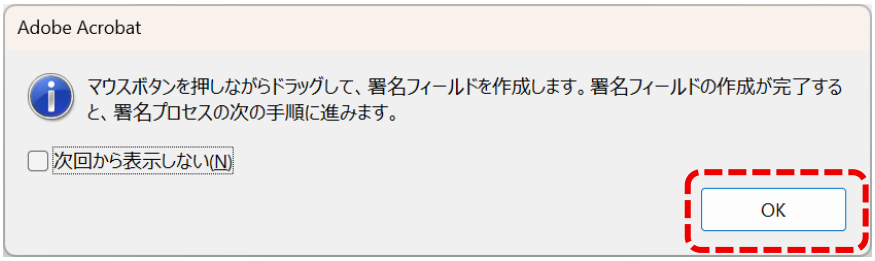
② 「証明書を使用」を選択します。



③　「デジタル署名」を選択します。



④　以下のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押下します。



⑤ 電子署名を追加する場所を選択後に、以下のダイアログが表示されます。

このダイアログに、「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」で指定した商業登記電子証明書が表示されますので、その証明書のラジオボタンを選択し、「続行」ボタンを押下します。以下のダイアログには、Windows の OS に登録されている他の電子証明書（ファイル形式で保存している商業登記電子証明書等）も表示されますので、「詳細を表示」リンクをクリックし、電子署名に利用する証明書のシリアル番号や有効期限などを確認してください。

⑥ 以下のダイアログが表示されるので「署名」ボタンを押下します。

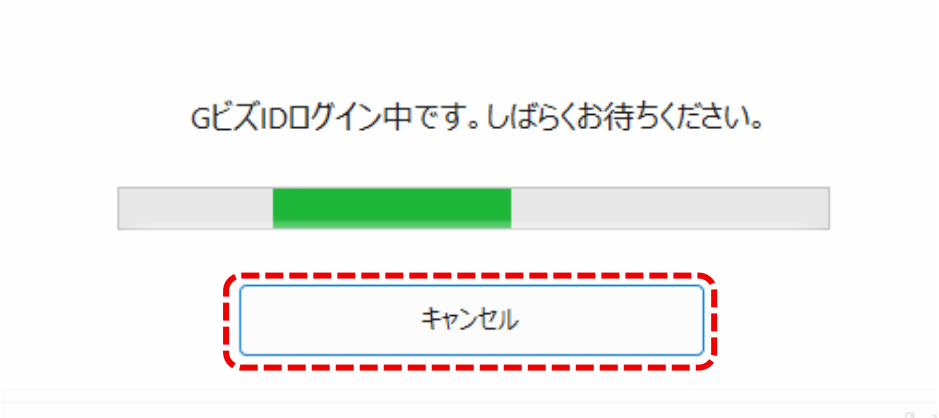
⑦ 操作⑥を一定期間行っていなかった場合、G ビズ ID のログイン画面が表示されますので、再度ログインを行います。

G ビズ ID へのログイン中には以下の画面が表示されますので、誤って G ビズ ID のログイン画面を閉じてしまった場合、「キャンセル」ボタンを押下し、再度操作②からやり直してください。

【注意事項】

G ビズ ID プライムアカウントを引き継いだ場合や商業登記電子認証ポータルにて電子証明書の署名機能が一時停止された場合など、G ビズ ID にログイン後に電子署名ができない場合があります。

その場合、「4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには...」にて、G ビズ ID からログアウトを実施してください。その後、「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」にて、G ビズ ID への再ログインと電子証明書の再登録を実施してください。

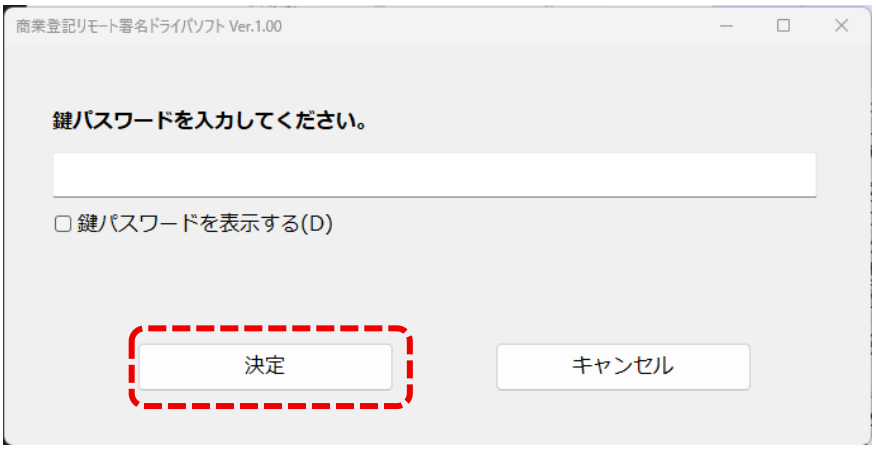


⑧ 以下のダイアログが表示されますので、商業登記電子証明書を商業登記リモート署名システムに取得した際に登録した鍵のパスワードを入力して、「決定」ボタンを押下します。

10 分間操作が行われなかった場合、本ダイアログは自動的に閉じられます。この場合、入力内容は破棄され、処理はキャンセルされます。

【留意事項】

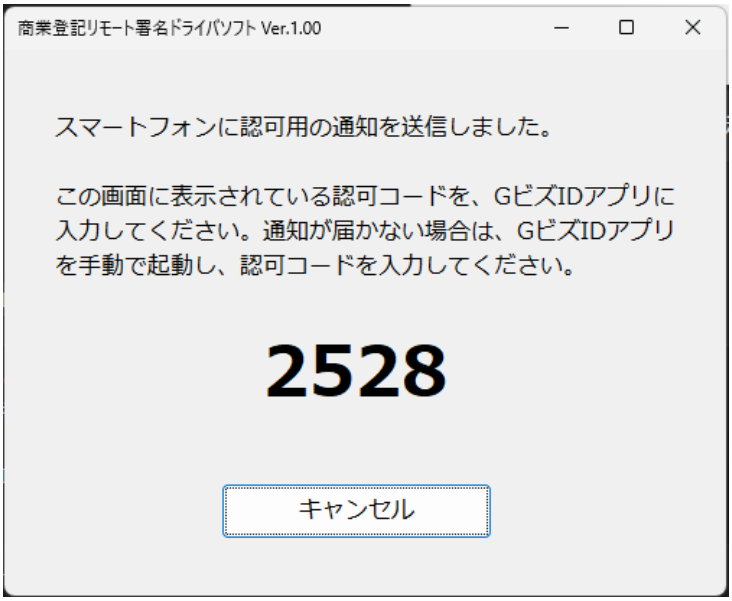
鍵パスワードの入力は、その後に続く認可端末による認可コードの入力（手順⑨）とともに実施することで、電子署名の付与を承認する重要な操作です。そのため、この操作は、ご利用される商業登記電子証明書の被証明者（会社・法人の代表者等）の意思と責任の下で適切に実施いただく必要がありますので、ご留意願います。



⑨ 以下のダイアログが表示されます。

本ダイアログは、認可端末（スマートフォン）の G ビズ ID アプリで認可コードの入力が完了

するまで表示されます。認可コードの入力が完了すると自動で次の操作に遷移します。
G ビズ ID アプリで 10 分間操作が行われなかった場合、本ダイアログは自動的に閉じられます。この場合、処理はキャンセルされます。



＜＜認可端末（スマートフォン）での操作＞＞

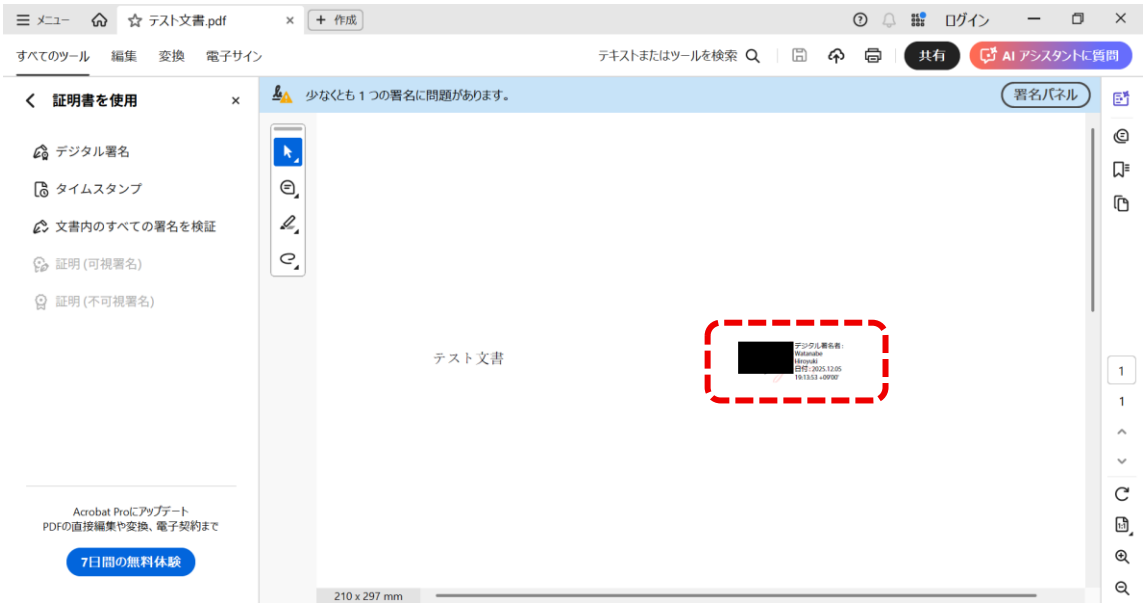
G ビズ ID アプリがインストールされ認可端末（スマートフォン）の G ビズ ID アプリにて、パソコン（Windows）の画面のダイアログに表示されている認可コードを入力します。

パソコン（Windows）の画面に表示されている認可コード“例：1234”を以下の G ビズ ID アプリにて入力します。

【留意事項】

認可端末による認可コードの入力は、電子署名の付与を承認する重要な操作です。そのため、この操作は、ご利用される商業登記電子証明書の被証明者（会社・法人の代表者等）の意思と責任の下で適切に実施いただく必要がありますので、ご留意願います。

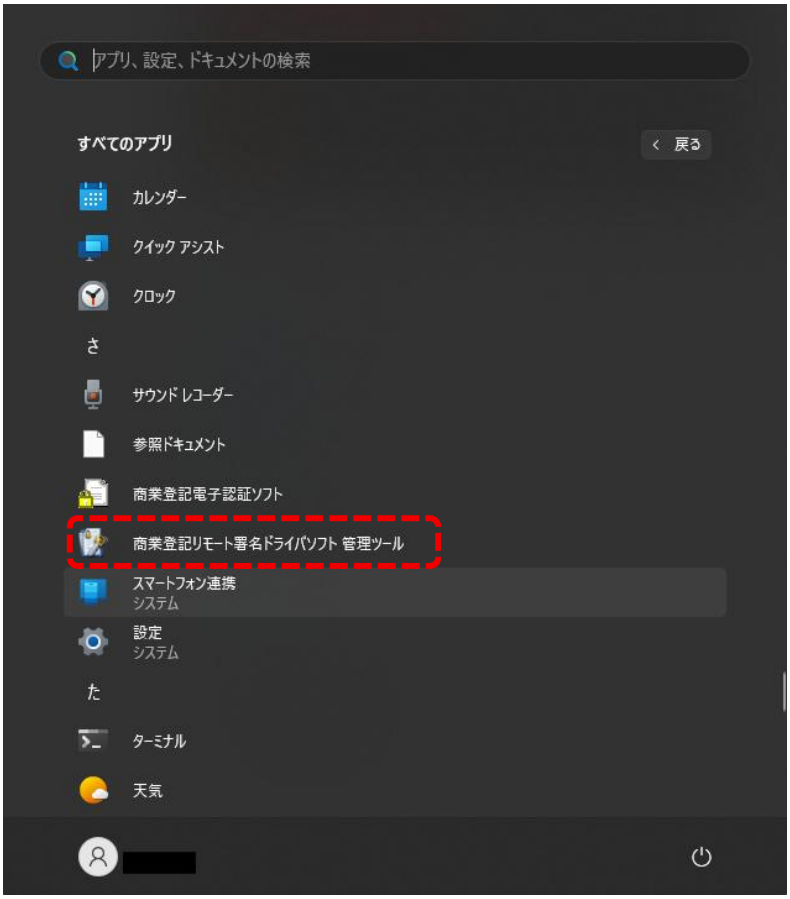
⑩ G ビズ ID アプリで認可が許可されると Adobe Acrobat Reader の処理が進み、PDF に対して、商業登記電子証明書の電子署名が付与されます。また、電子署名後に、「少なくとも 1 つの署名に問題があります」と表示された場合には、Adobe Acrobat Reader の“署名検証の環境設定”にて、パソコン（Windows）の「信頼されたルート証明書機関」の証明書を信頼する設定に変更してください。



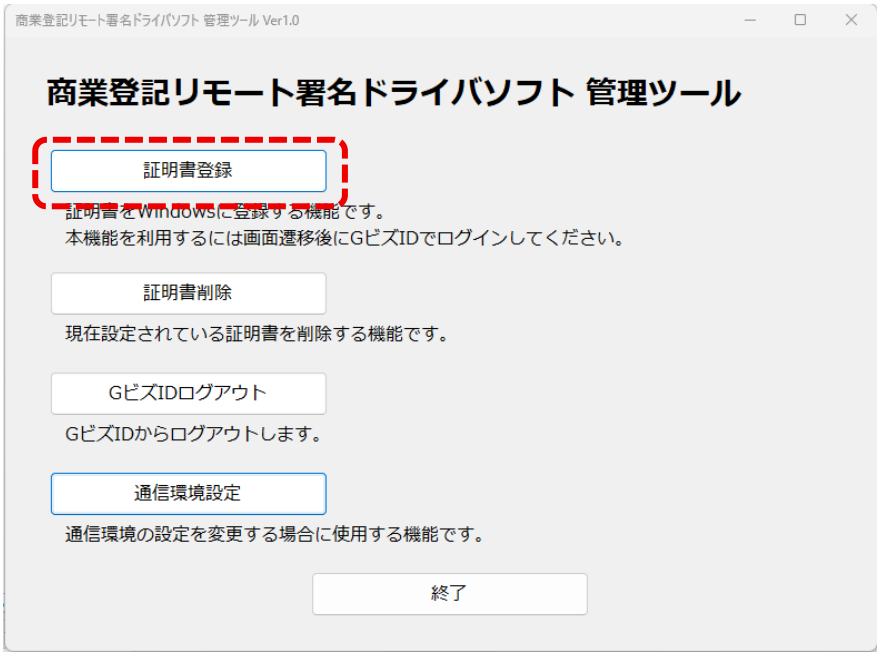
4　その他機能の操作

4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...

① Windows のメニューから「商業登記リモート署名ドライバソフト 管理ツール」を起動します。



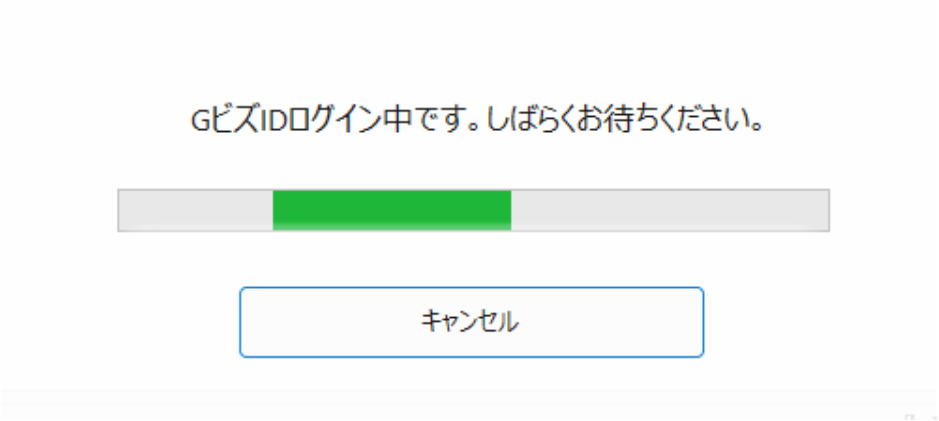
② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「証明書登録」を押下します。



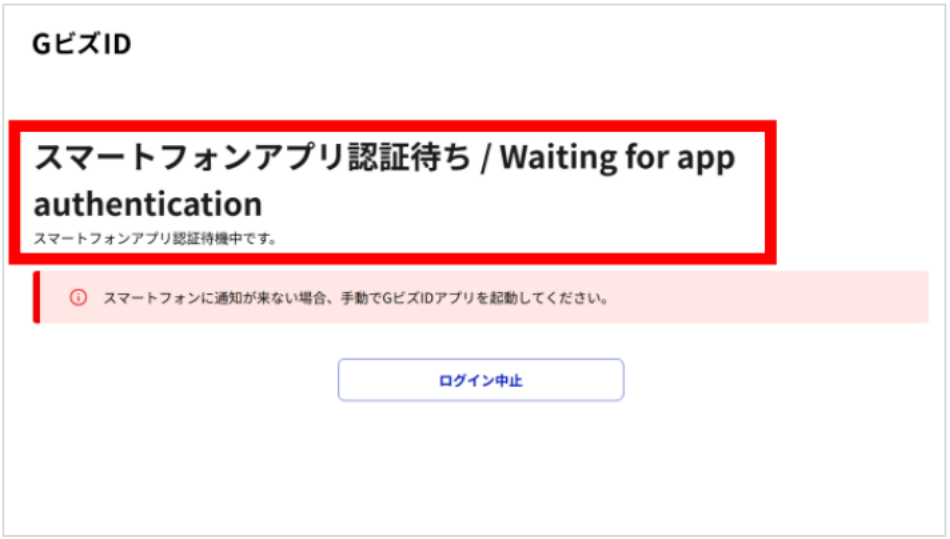
③ ブラウザが起動され G ビズ ID のログイン画面が表示されます。G ビズ ID に登録済の Email、パスワードを入力し、「ログイン/Login」ボタンを押下します。

G ビズ ID へのログイン中には以下の画面が表示されますので、誤って G ビズ ID のログイ

ン画面を閉じてしまった場合、「キャンセル」ボタンを押下し、再度操作②を実施してください。

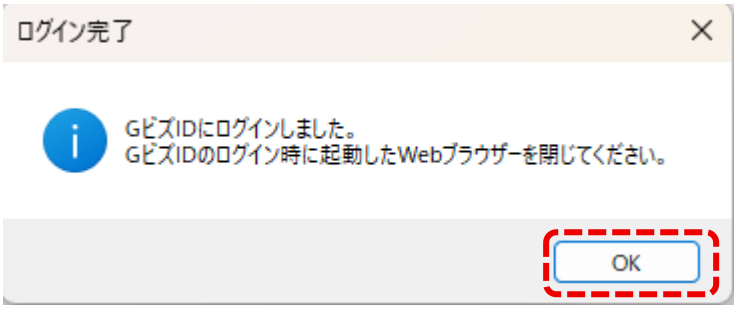


④ 以下の認証画面が表示された場合はその指示に従って、G ビズ ID に設定済の認証をおこなってください。



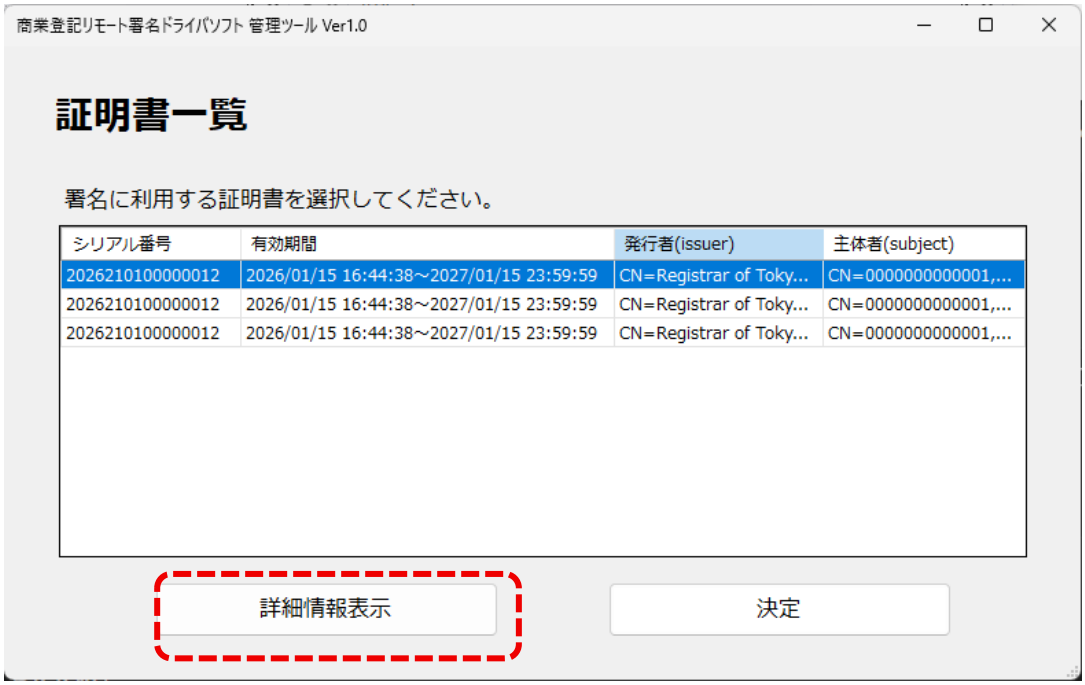
⑤ 認証が正常に完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「開く」ボタンを押下します。

⑥ 以下のダイアログが表示されますので、③で起動したブラウザを閉じた後に「OK」ボタンを押下してください。



⑦ 以下のダイアログが表示され、商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書一覧がリスト表示されます。電子署名に利用する証明書は選択状態となります。内容を確認したい証明書をリストから選択後に、「詳細情報表示」ボタンを押下します。

※商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書が 1 件の場合には、以下のダイアログは表示されません（手順⑧の画面が表示されます。）。また、利用可能な証明書が 0 件の場合には、0 件というダイアログが表示されます。既に管理ツールから登録した証明書が存在する状態で別の証明書を登録した場合、前の証明書は削除されて新しい証明書が登録されます。

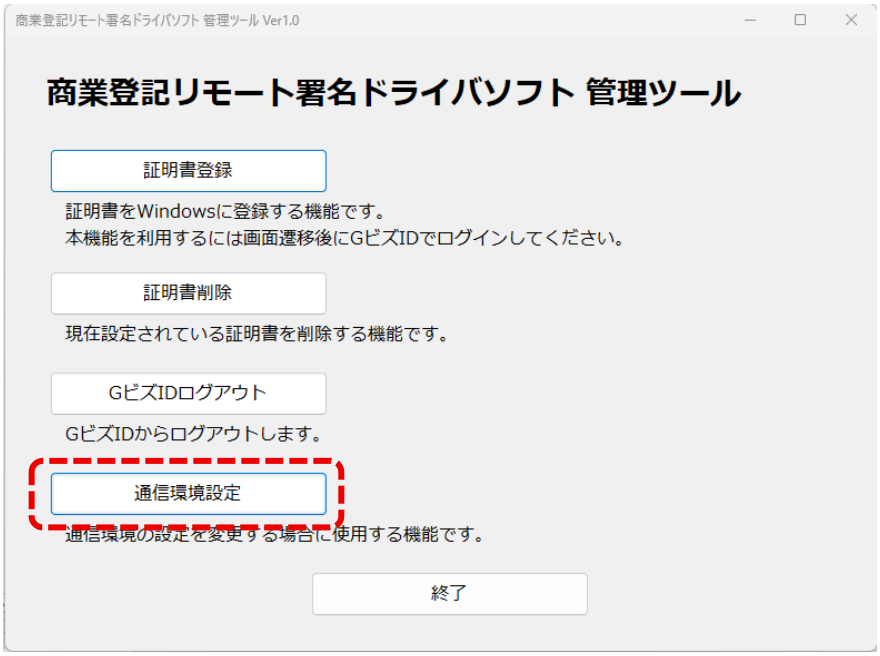


⑧ 以下のダイアログが表示され、商業登記電子証明書の内容がダイアログ内に表示されます。内容を確認後に「閉じる」ボタンを押下します。

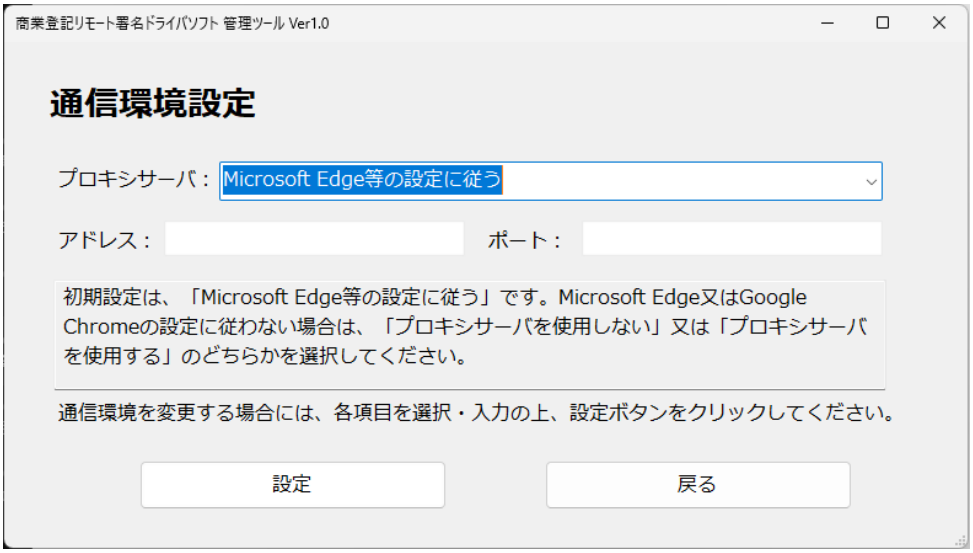
4.2 通信環境の設定を行うには...

① Windows のメニューから「商業登記リモートドライバソフト 管理ツール」を起動します。

② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「通信環境設定」ボタンを押下します。

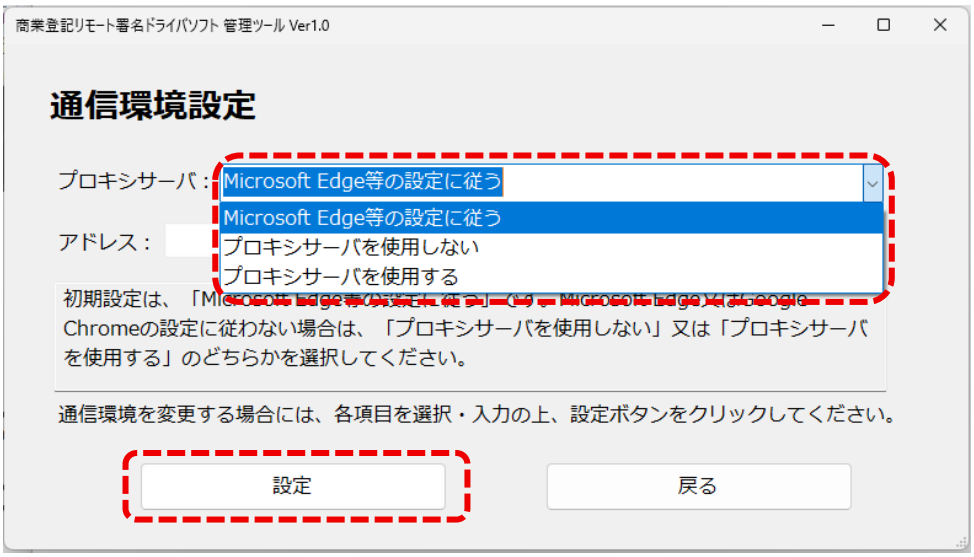


③ 以下の通信環境設定ダイアログが表示されます。



④ 初期設定は、「Microsoft Edge 等の設定に従う」が選択されております。プロキシサーバを個別に指定する場合には、「プロキシサーバを使用する」をリストから選択後に、「アドレス：」及びび「ポート：」にプロキシサーバの IP アドレスとポート番号を入力してください。プロキシサーバを使用しない場合には、「プロキシサーバを使用しない」

をリストから選択してください。設定変更後、「設定」ボタンを押下します。



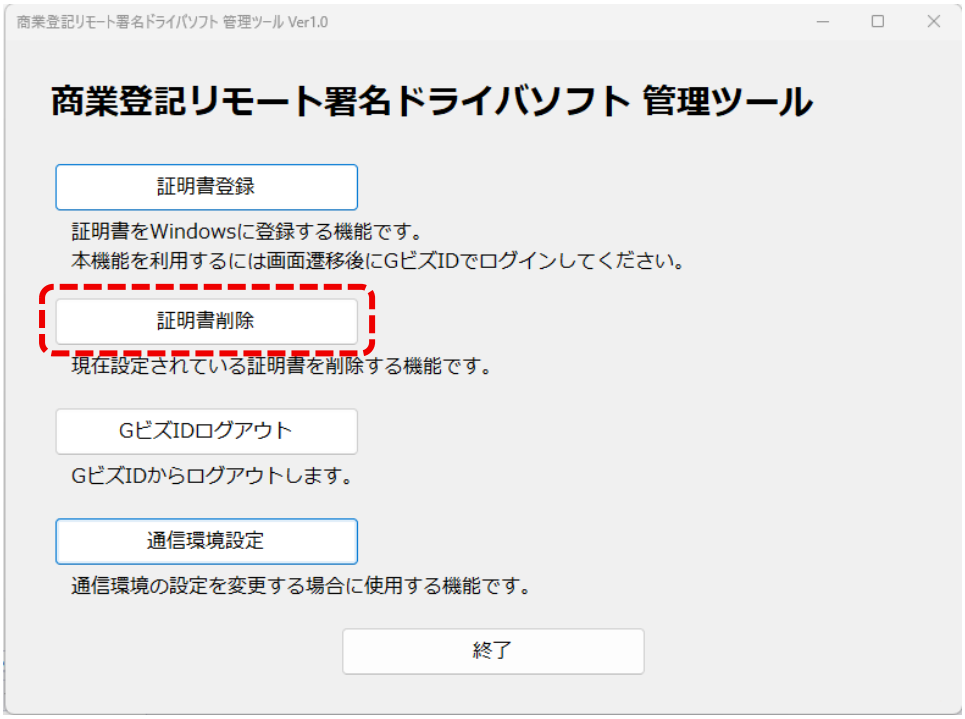
⑤ 以下のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。

4.3 電子署名に指定した商業登記電子証明書をクリアするには...

「2 **事前準備**」で指定した電子署名に利用する商業登記電子証明書とは別の商業登記電子証明書を指定したい際には、本章に記載のクリア方法を実施してください。

① Windows のメニューから「商業登記リモート署名ドライバソフト 管理ツール」を起動します。

② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「証明書削除」ボタンを押下します。

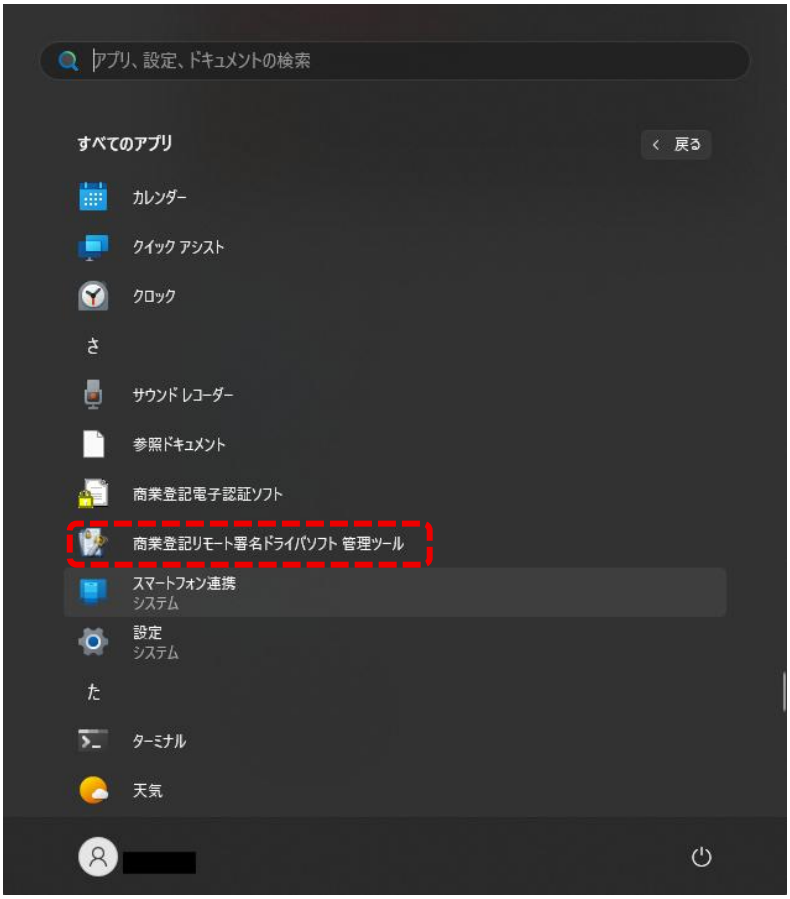


③ 以下のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。

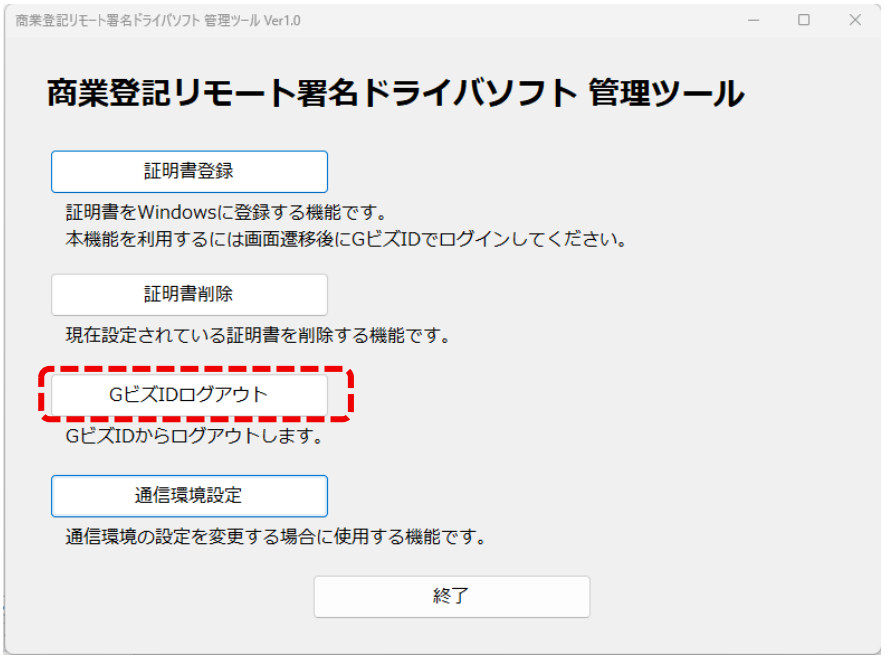
4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには...

本ソフトウェアでは、G ビズ ID への認証情報を一定期間内部に保持します。この認証情報を明示的にクリアしたい場合は、以下の操作を行ってください。

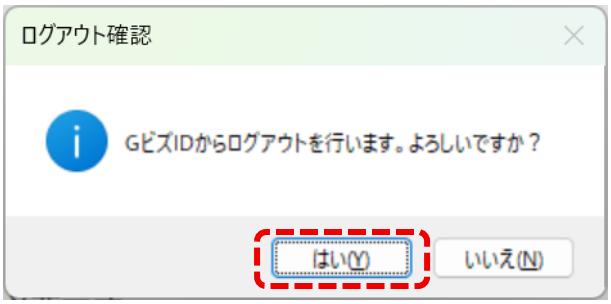
① Windows のメニューから「商業登記リモート署名ドライバソフト 管理ツール」を起動します。



② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「ＧビズＩＤログアウト」ボタンを押下します。

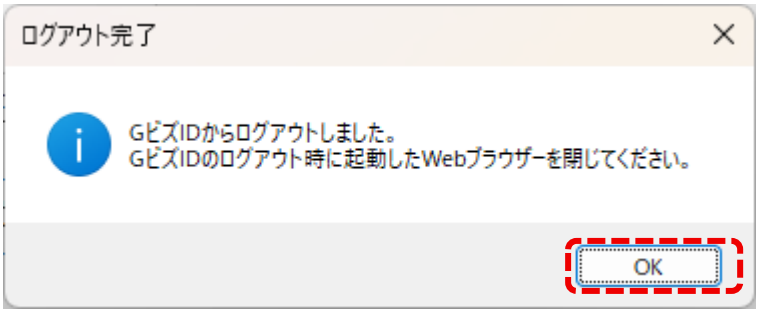


③ 以下の確認ダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。



④ ブラウザが起動し、以下のダイアログが表示されますので、「開く」ボタンを押下します。

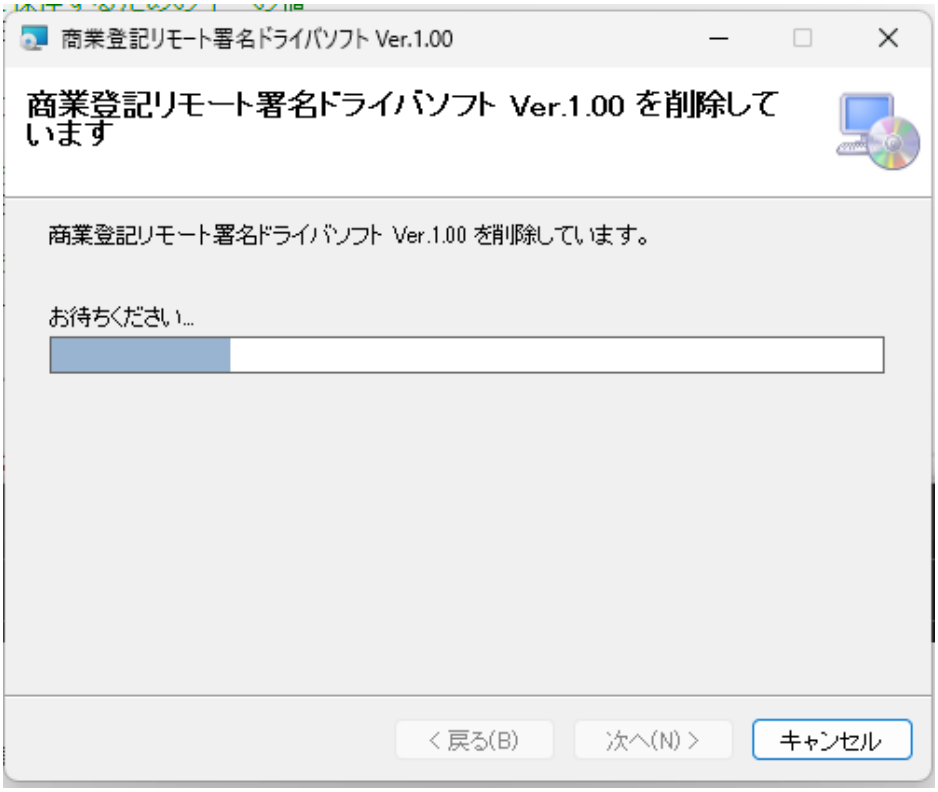
⑤ 以下のダイアログが表示されますので、④で起動したブラウザを閉じた後に「OK」ボタンを押下してください。



4.5 商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールするには...

① ダウンロードしたインストーラのファイル（setup.exe）をマウスのダブルクリックにて実行します。以下のダイアログが表示されますので、「商業登記リモート署名ドライバソフト Ver1.00 の削除(M)」のラジオボタンを選択し、「完了(E)」ボタンを押下します。

② アンインストールが開始されると、以下のアンインストール状況の表示ダイアログが表示され、アンインストールの状況が表示されます。

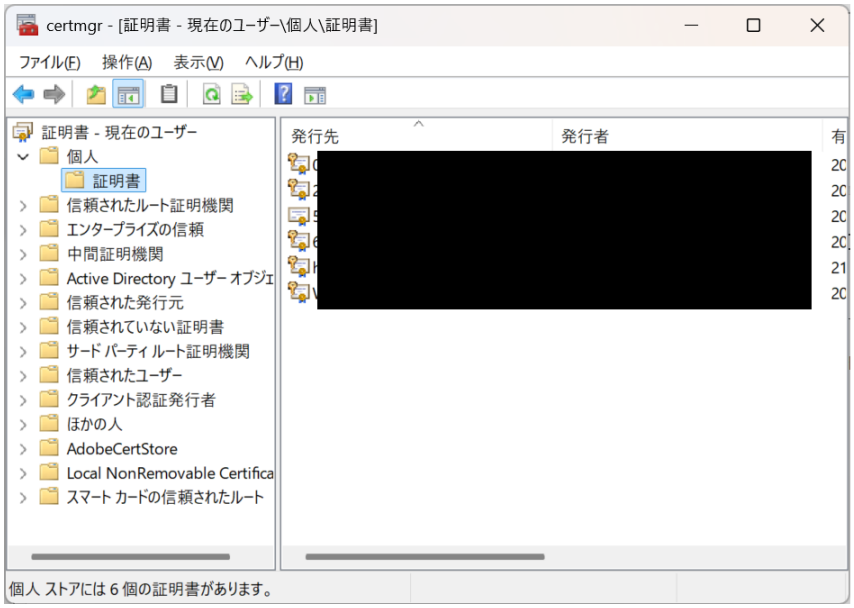


③ 以下のアンインストール完了のダイアログが表示されましたら、アンインストールは完了となります。「閉じる(C)」ボタンを押下します。

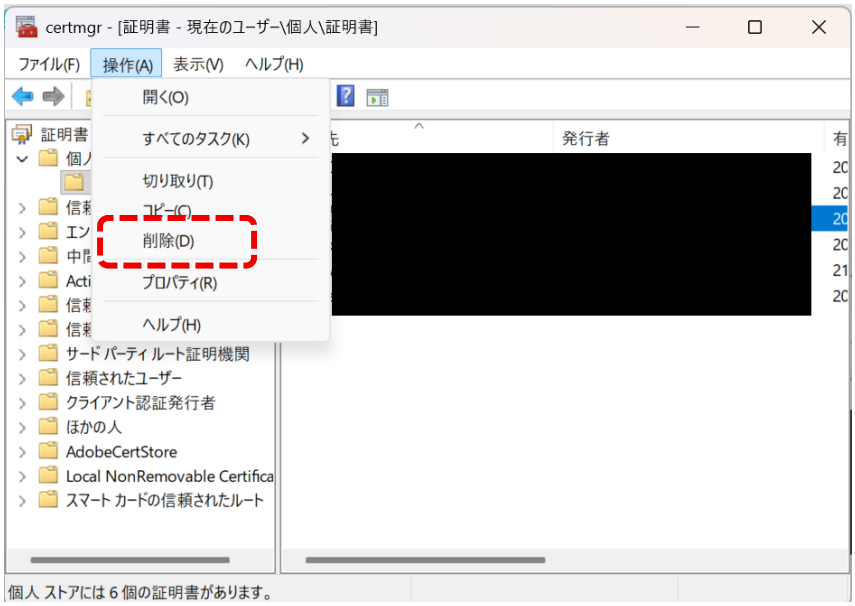
④ 本ソフトウェアのアンインストールは完了となりますが、Windows の証明書ストアに登録された証明書は、以下の手順で削除する必要があります。

(ア) Windows キー ＋ R を押し、「certmgr.msc」と入力して Enter を押してください。

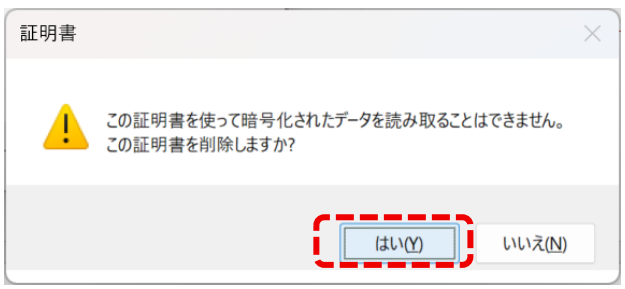
(イ) 以下のダイアログが表示されますので、削除する商業登記電子証明書を選択します。シリアル番号や有効期間等で削除対象の証明書を正しく選択してください。



(ウ)「操作(A)」から「削除(D)」を選択し、削除を実行します。



(エ)以下のダイアログが表示されますので「はい(Y)」を押下すると削除が完了します。

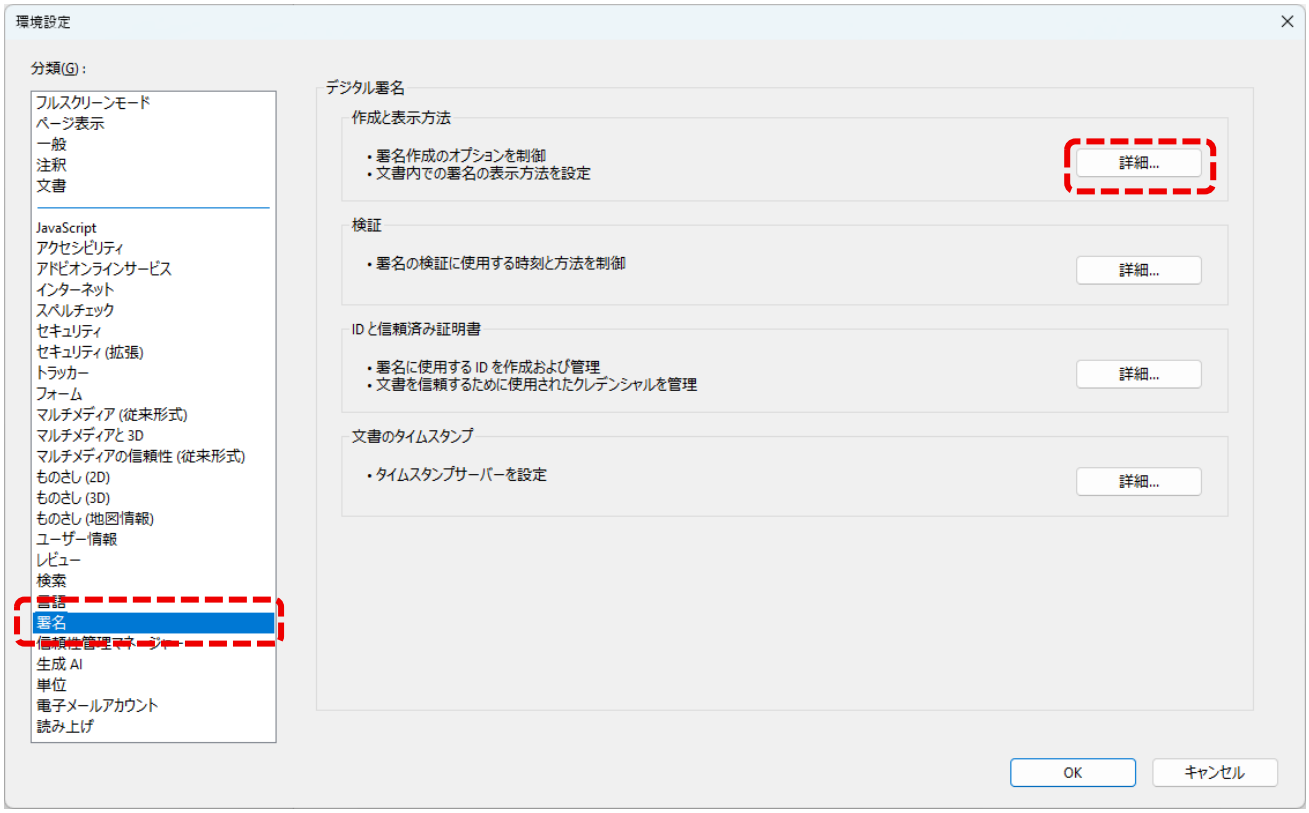


5　トラブルシューティング

5.1 Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat で署名が無効と表示される場合

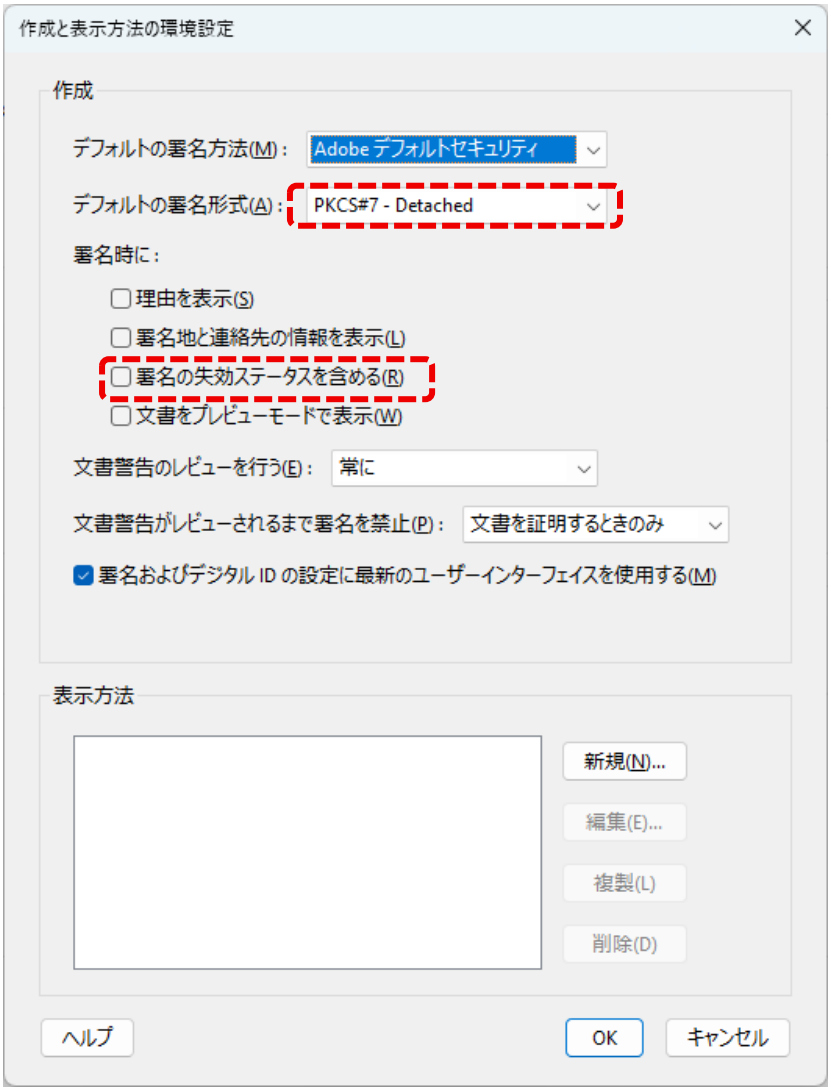
「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」の手順⑧において、暗号 API 方式に「CryptoAPI」を選択して電子署名を行う場合、Adobe Acrobat Reader（バージョン 2025.001.21288）において以下の設定がされていると、電子署名を行うと電子署名を正常に検証できない（署名が無効となる）という問題があります。

① [メニュー] > [環境設定] > [署名] を選択し、デジタル署名の作成と表示方法の[詳細]を開く。



② デフォルトの署名形式が「PKCS#7 - Detached」、かつ、署名時に「署名の失効ステー

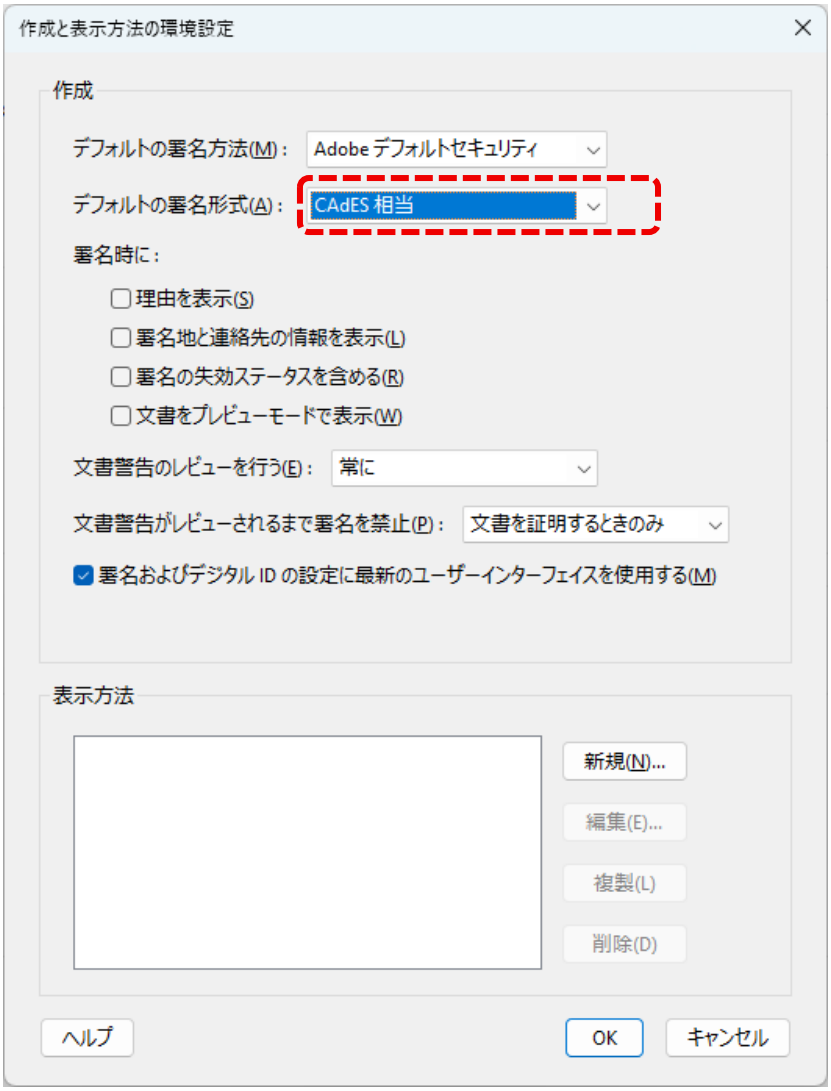
タスを含める」のチェックボックスが未選択となっている。



【対処方法】

電子署名時に「署名の失効ステータスを含めない」署名を行いたい場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。

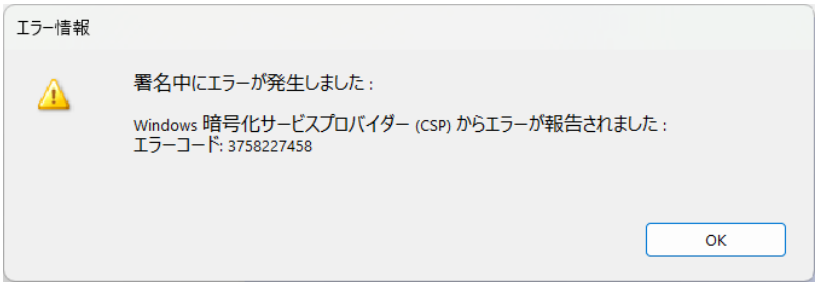
- 方法１：「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」の手順⑧にて、暗号方式に「Cryptography API: Next Generation(CNG)(推奨)」を選択する。
- 方法２：デフォルトの署名形式を「CAdES 相当」に変更する。



5.2 G ビズ ID プライムアカウントを引き継ぐ場合の注意事項について

G ビズ ID メンバーアカウントで以前管理ツールにログインしていた場合、G ビズ ID プライムアカウントを引き継いだ後に、管理ツールで G ビズ ID への再ログイン及び電子証明書の再登録を行わないと、以下の問題が発生する場合があります。

- アカウント引継ぎ後、商業登記リモート署名システムの利用者情報が削除されるため、引継ぎ前の G ビズ ID のプライムアカウントの電子証明書を使用した電子署名ができなくなり、以下のエラーが発生する。



【対処方法】

アカウント引継ぎ後の G ビズ ID のプライムアカウントの電子証明書を使用して電子署名を行うには、「4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには...」にて、G ビズ ID からログアウトを実施してください。その後、「2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定」にて、G ビズ ID への再ログインと電子証明書の再登録を実施してください。

5.3 電子証明書の指定時に利用可能な電子証明書がない旨のダイアログが表示される場合について

「3.1Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作」の手順⑦又は「4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...」の手順⑦において、利用可能な証明書が 0 件である旨のダイアログが表示される場合、以下の理由により商業登記電子認証ポータルに利用可能な電子証明書が存在しない可能性があります。

- 電子証明書が登録されていない
- 電子証明書が削除された
- 電子証明書の再発行が完了していない

【対処方法】

電子証明書が登録されていない、又は、電子証明書が削除された場合は、商業登記電子認証ポータルに電子証明書を登録する必要があります。手順については、「商業登記電子認証ポータル 利用者マニュアル」の「2.4 手順 3 電子証明書の取得」を参照してください。

電子証明書の再発行が完了していない場合は、商業登記電子認証ポータルにて再発行後の電子証明書を登録する必要があります。手順については、「商業登記電子認証ポータル 利用者

マニュアル」の「3.2.8 再発行した電子証明書の登録の機能」を参照してください。

6 G ビズ ID との連携

G ビズ ID の操作の詳細につきましては、G ビズ ID の利用者マニュアルを参照してください。

7 用語の定義

表 2. 用語の定義

	用語・略号	説明
1	商業登記電子証明書	法務省が商業登記に基づき発行する X.509 形式の電子証明書。会社・法人の代表者等に対して発行され、行政サービスのオンライン申請や、民間企業間での電子契約等に利用される。
2	登記・供託オンライン申請システム	不動産登記や商業・法人登記等の申請及び登記事項証明書等の請求をインターネット等により行うシステム。登記・供託オンライン申請システムを利用することにより、登記所等の窓口に出向くことなく、自宅やオフィスなどからインターネット等による申請・請求が可能となる。申請用総合ソフトにより商業登記電子証明書の申請も行える。
3	商業登記リモート署名	G ビズ ID、商業登記認証ポータル、商業登記リモート署名システム、商業登記リモート署名ドライバソフトを利用して、商業登記電子証明書のリモート署名機能を提供する仕組み全体を指す。
4	G ビズ ID	デジタル庁が運用する電子的な行政手続の対象者

		を一元的に認証する法人共通認証基盤である。会社・法人の代表者等や個人事業主等が、行政サービスを利用する際の認証に使われ、商業登記リモート署名の利用も G ビズ ID の利用を前提としている。OP と略す場合がある。※OP: OpenID Provider
5	商業登記電子認証ポータル	商業登記電子証明書の発行準備や取得に加えて管理機能も備える商業登記リモート署名の一部として提供されるウェブサービス。G ビズ ID によりログインして利用する。商業登記電子証明書で従来提供されていた商業登記電子認証ソフトに代わって利用される。
6	署名生成アプリケーション	商業登記リモート署名を利用して、電子署名の生成を行う行政サービス等のウェブサービスや電子署名アプリ。主にウェブサービスの場合には商業登記リモート署名システムが提供する API を利用し、Windows 上の電子署名アプリの場合には商業登記リモート署名ドライバソフトが提供する API を利用する。利用には G ビズ ID と商業登記電子証明書の取得が必要となる。SCA と略す場合がある。※SCA: Signature Creation Application
7	商業登記リモート署名システム	主に行政サービス等のウェブサービスへ商業登記リモート署名の機能を提供するシステム。電子署名を直接利用するための API（外部のプログラムから呼び出す仕組み）を提供する。署名生成アプリケーションから利用する。署名生成アプリケーション提供者は、利用する行政サービス等の G ビズ ID への RP 登録と商業登記リモート署名窓口への SCA 登録が必要。RSSP と略す場合がある。※RSSP: Remote Signature Service Provider

8	商業登記リモート署名ドライバソフト	Windows 上で動作する電子署名アプリから商業登記リモート署名を利用するために、Windows にインストールするドライバソフトウェア。利用するためには Windows の CNG/CAPI の暗号 API を呼び出す必要がある。API を利用するだけであれば G ビズ ID への RP 登録は不要であり、民間での利用も可能。
9	署名鍵	商業登記電子証明書に記載されている公開鍵と紐付いた秘密鍵（暗号鍵）。利用者（所有者）自身で管理され、電子署名を付与するために利用される。
10	リモート署名	署名鍵をクラウド（リモート）上の安全なハードウェアに保管して当人認証により署名者を識別して電子署名を付与する署名方式の一種。署名鍵を自身の PC にファイル保管して利用するローカル署名方式に比較して署名鍵の安全性が高い。
11	利用者	商業登記リモート署名を利用し、又は利用しようとする者。
12	署名生成アプリケーション提供者	商業登記リモート署名を使い、電子署名の生成を行うウェブサービスや電子署名アプリの提供者（行政機関や民間サービス）。
13	行政サービス	国や地方自治体などの行政機関が提供しているシステムやサービス。商業登記リモート署名システムと連携し利用者の指示に基づき署名処理を実行する。
14	登記所	商業登記証明書の発行申請を審査する窓口。
15	電子認証登記所	商業登記に基づく電子認証制度により発行される電子証明書の発行業務を行う電子認証局。
16	CAPI	Microsoft Cryptographic API の略。Windows で暗号化、復号、署名、検証などの機能を提供する API。

17	CNG	Cryptography API: Next Generation の略。CAPI の後継として Windows Vista 以降に導入された新しい暗号 API。
18	二要素認証	利用者がシステム等にログインする際に、２つの異なる認証要素を使って本人確認を行う仕組みのこと。
19	G ビズ ID アプリ	G ビズ ID のログイン時の二要素認証に利用されるスマートフォン用アプリケーション。商業登記リモート署名では、署名認可操作においても利用する。本アプリがインストールされたスマートフォンで、電子証明書との紐付けを行った端末については、認可端末とも呼ぶ場合がある。
20	商業登記リモート署名サポートデスク	商業登記電子認証ポータル及び商業登記リモート署名システムに関する利用者からの問い合わせ受付窓口。

8 参考情報

本ソフトウェアの利用に関する参考情報を以下に示します。

- 商業登記電子証明書
  （https://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION/）
- G ビズ ID ホームページ
  （https://gbiz-id.go.jp/top/）
- G ビズ ID ご利用ガイド
  （https://gbiz-id.go.jp/top/manual/manual.html）
- G ビズ ID アプリ
  （https://gbiz-id.go.jp/top/app/app.html）
- 商業登記電子認証ポータル 利用者マニュアル
  （https://portal.cr-rs.moj.go.jp/docs/manuals/crpki_portal_web_user_guide.pdf）

商標については次のとおりです。

- Microsoft Windows 及び Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、及び Adobe PDF ロゴは、米国及び/又はその他の国における Adobe の登録商標又は商標です。
- Mac 及び macOS は、米国及びその他の国と地域で登録された Apple Inc.の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標又は商標です。

9 問い合わせ

問い合わせ先を以下に示す。

- 商業登記リモート署名サポートデスク
  https://portal.cr-rs.moj.go.jp/docs/contents/contact.html